



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和4年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和4年3月	令和4年6月	前回調査との差
茨城県	38.6	55.3	+16.7
県北地域	39.6	52.3	(+12.7)
県央地域	33.9	56.8	(+22.9)
鹿行地域	41.5	55.7	+14.2
県南地域	39.3	59.4	+20.1
県西地域	38.6	52.2	+13.6

※かっこ内は参考値（地域区分内の構成市町村変更のため）

《景気の先行き判断DI》

	令和4年3月	令和4年6月	前回調査との差
茨城県	46.6	51.7	+5.1
県北地域	43.9	50.5	(+6.6)
県央地域	49.1	58.5	(+9.4)
鹿行地域	49.1	50.9	+1.8
県南地域	47.3	53.6	+6.3
県西地域	43.4	44.7	+1.3

※かっこ内は参考値（地域区分内の構成市町村変更のため）

令和4年7月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	（1）景気の現状判断DI	3
	（2）景気の先行き判断DI	4
2	地域別の動向	5
	（1）景気の現状判断DI	5
	（2）景気の先行き判断DI	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問合せ先
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632
公式サイトのURL
[https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/
betsu/bukka/watch/index.html](https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html)

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

※今回調査から、ひたちなか市、那珂市、東海村の地域区分を県北地域から県央地域に変更した。このため、本報告書内の県北・県央地域の前回調査とのポイント差は参考値となる。

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	38	36	36	36	183
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	17	19	19	19	93
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	283 人	94.3%
県北地域	60 人	54 人	90.0%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	56 人	93.3%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和4年6月調査の調査期間は、令和4年6月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1 \text{ 点} \times 15.0\%) + (0.75 \text{ 点} \times 27.0\%) + (0.5 \text{ 点} \times 25.0\%) + (0.25 \text{ 点} \times 11.0\%) + (0 \text{ 点} \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50 (=0.5点×100%) となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは55.3となった。令和4年3月調査（以下「前回調査」という。）より16.7ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

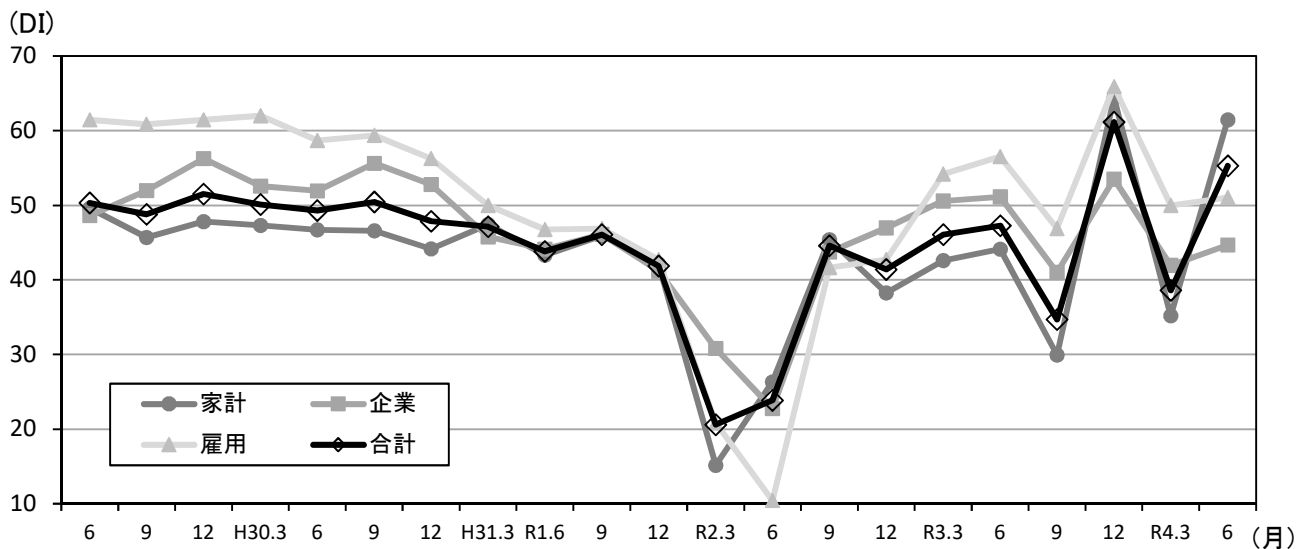
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		47.3	34.7	61.2	38.6	55.3
家計動向関連		44.1	29.9	64.4	35.2	61.5
小売関連		38.7	29.3	53.2	33.6	54.9
飲食関連		42.7	12.5	72.7	27.2	68.8
サービス関連		49.7	33.1	75.4	38.5	67.0
住宅関連		44.4	50.0	46.9	40.6	46.9
企業動向関連		51.1	41.0	53.5	42.0	44.7
農林水産業		54.2	45.8	57.1	34.4	34.4
製造業		49.5	38.5	53.1	41.7	43.1
非製造業		52.9	43.6	53.2	44.1	49.3
雇用関連		56.5	46.9	65.9	50.0	51.0

表1-2 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	4.5%	1.4%	14.4%	3.6%	7.1%
やや良くなっている	23.4%	8.9%	38.8%	15.1%	35.7%
変わらない	39.9%	40.5%	29.5%	30.9%	33.2%
やや悪くなっている	21.3%	25.4%	11.5%	32.7%	19.4%
悪くなっている	11.0%	23.7%	5.8%	17.6%	4.6%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.7となった。前回調査より5.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

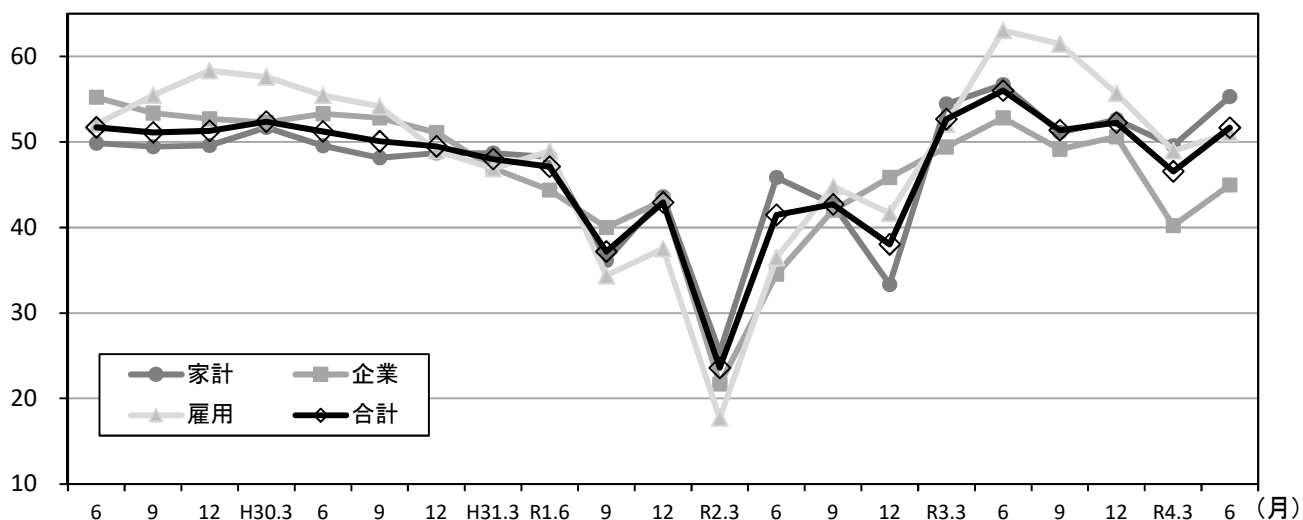
分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		56.0	51.4	52.2	46.6	51.7
家計動向関連		56.7	51.1	52.6	49.5	55.3
小売関連		52.1	48.6	49.6	48.4	47.0
飲食関連		58.3	46.6	58.0	46.6	71.3
サービス関連		63.7	56.8	54.7	52.1	61.0
住宅関連		30.6	33.3	46.9	43.8	31.3
企業動向関連		52.8	49.2	50.6	40.2	44.9
農林水産業		50.0	41.7	50.0	31.3	28.1
製造業		53.1	47.4	48.4	40.0	46.3
非製造業		52.9	52.9	54.0	42.6	47.1
雇用関連		63.0	61.5	55.7	49.0	51.0

表1-4 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	6.2%	4.1%	5.0%	2.9%	5.3%
やや良くなっている	35.7%	28.2%	29.5%	25.9%	32.5%
変わらない	40.5%	43.6%	41.7%	36.3%	30.7%
やや悪くなっている	11.0%	17.2%	16.9%	24.5%	26.5%
悪くなっている	6.5%	6.9%	6.8%	10.4%	4.9%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは52.3となった。前回調査より12.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った（参考値）。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		47.8	32.2	63.4	39.6	52.3
	家計動向関連	45.7	29.2	68.9	41.1	55.3
	企業動向関連	52.6	38.2	53.9	37.5	48.5
	雇用関連	41.7	31.3	62.5	37.5	43.8

表2-2 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	7.0%	1.7%	10.7%	1.9%	1.9%
やや良くなっている	22.8%	5.1%	48.2%	17.0%	35.2%
変わらない	31.6%	39.0%	28.6%	32.1%	38.9%
やや悪くなっている	31.6%	28.8%	8.9%	35.8%	18.5%
悪くなっている	7.0%	25.4%	3.6%	13.2%	5.6%

② 県央地域

景気の現状判断DIは56.8となった。前回調査より22.9ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った（参考値）。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		45.4	34.2	65.4	33.9	56.8
	家計動向関連	44.2	29.6	70.5	27.7	63.2
	企業動向関連	46.9	39.3	51.8	44.6	42.2
	雇用関連	50.0	55.0	62.5	50.0	55.0

表2-4 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	3.3%	1.8%	19.3%	5.4%	5.1%
やや良くなっている	20.0%	10.5%	40.4%	14.3%	42.4%
変わらない	46.7%	40.4%	26.3%	16.1%	30.5%
やや悪くなっている	15.0%	17.5%	10.5%	39.3%	18.6%
悪くなっている	15.0%	29.8%	3.5%	25.0%	3.4%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは55.7となった。前回調査より14.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		46.1	38.1	58.5	41.5	55.7
	家計動向関連	41.4	32.9	60.9	36.0	61.4
	企業動向関連	51.4	43.4	52.9	47.1	44.7
	雇用関連	60.0	55.0	62.5	60.0	60.0

表2-6 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	3.4%	1.7%	9.4%	5.4%	7.0%
やや良くなっている	25.9%	16.9%	41.5%	16.1%	33.3%
変わらない	29.3%	33.9%	26.4%	26.8%	36.8%
やや悪くなっている	34.5%	27.1%	18.9%	42.9%	21.1%
悪くなっている	6.9%	20.3%	3.8%	8.9%	1.8%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは59.4となった。前回調査より20.1ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		50.9	37.5	61.2	39.3	59.4
	家計動向関連	51.4	33.8	62.9	38.3	66.7
	企業動向関連	48.6	40.8	55.6	39.5	50.0
	雇用関連	55.0	50.0	70.0	45.0	45.0

表2-8 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	6.9%	1.7%	21.4%	3.6%	16.1%
やや良くなっている	20.7%	5.2%	30.4%	14.3%	28.6%
変わらない	51.7%	48.3%	28.6%	37.5%	33.9%
やや悪くなっている	10.3%	31.0%	10.7%	25.0%	19.6%
悪くなっている	10.3%	13.8%	8.9%	19.6%	1.8%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは52.2となった。前回調査より13.6ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

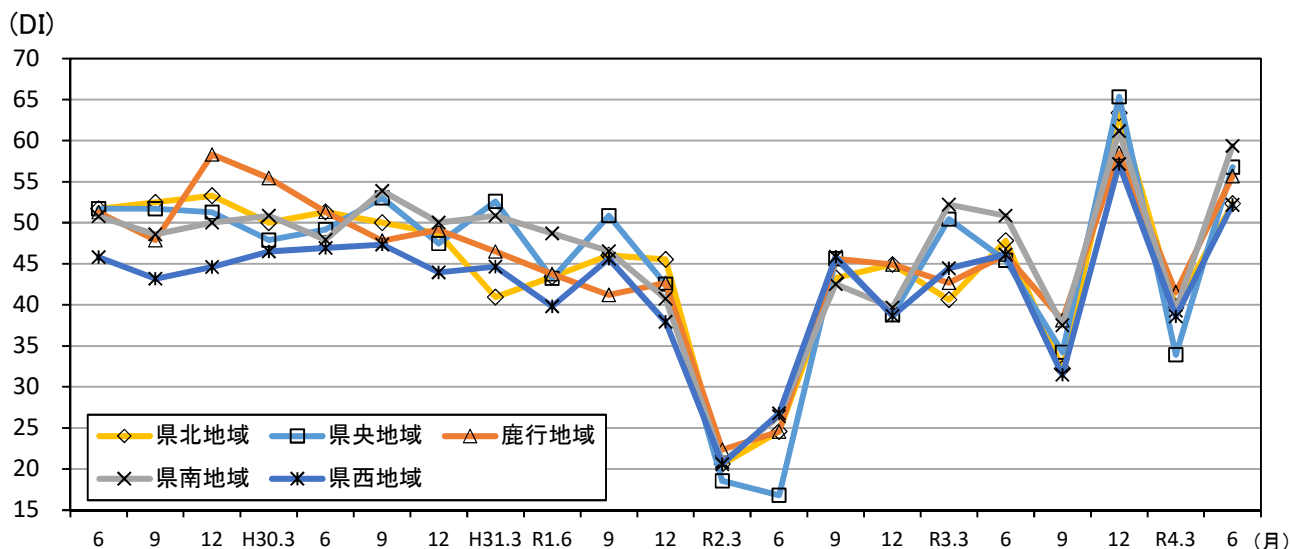
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		46.1	31.5	57.1	38.6	52.2
家計動向関連		37.9	24.3	57.6	34.1	60.6
企業動向関連		55.6	43.1	52.8	42.1	38.2
雇用関連		70.0	40.0	70.0	55.0	50.0

表2-10 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	1.7%	0.0%	10.7%	1.8%	5.3%
やや良くなっている	27.6%	6.9%	33.9%	14.0%	38.6%
変わらない	39.7%	41.4%	37.5%	42.1%	26.3%
やや悪くなっている	15.5%	22.4%	8.9%	21.1%	19.3%
悪くなっている	15.5%	29.3%	8.9%	21.1%	10.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3月	R4.6月
県全体	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7	61.2	38.6	55.3
県北	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2	63.4	39.6	52.3
県中央	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2	65.4	33.9	56.8
鹿行	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1	58.5	41.5	55.7
県南	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5	61.2	39.3	59.4
県西	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1	38.6	52.2
全国	50.9	50.2	52.2	50.4	49.5	47.3	46.5	45.6	44.6	45.0	39.1	14.7	39.0	47.7	35.3	48.5	46.5	42.3	57.5	47.8	52.9(季節調整値)
	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7	36.5	49.5	45.4	43.3	58.6	48.9	51.8(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは50.5となった。前回調査より6.6ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った（参考値）。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		52.6	50.4	50.0	43.9	50.5
	家計動向関連	55.0	51.4	53.8	46.0	51.5
	企業動向関連	50.0	48.7	43.4	37.5	50.0
	雇用関連	41.7	50.0	50.0	56.3	43.8

表2-12 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	5.3%	3.4%	3.6%	0.0%	7.4%
やや良くなっている	29.8%	27.1%	30.4%	26.4%	33.3%
変わらない	43.9%	40.7%	37.5%	32.1%	20.4%
やや悪くなっている	12.3%	25.4%	19.6%	32.1%	31.5%
悪くなっている	8.8%	3.4%	8.9%	9.4%	7.4%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは58.5となった。前回調査より9.4ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った（参考値）。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		57.5	51.8	55.3	49.1	58.5
	家計動向関連	57.1	52.0	56.4	52.7	62.5
	企業動向関連	57.8	46.4	50.0	42.9	50.0
	雇用関連	60.0	65.0	62.5	40.0	55.0

表2-14 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	5.0%	1.8%	12.3%	1.8%	5.1%
やや良くなっている	43.3%	31.6%	28.1%	28.6%	44.1%
変わらない	36.7%	45.6%	35.1%	46.4%	32.2%
やや悪くなっている	6.7%	14.0%	17.5%	10.7%	16.9%
悪くなっている	8.3%	7.0%	7.0%	12.5%	1.7%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断DIは50.9となった。前回調査より1.8ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		55.2	51.7	50.5	49.1	50.9
	家計動向関連	53.6	49.3	48.4	50.0	52.3
	企業動向関連	54.2	53.9	55.9	44.1	44.7
	雇用関連	70.0	60.0	43.8	60.0	65.0

表2-16 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	1.7%	5.1%	0.0%	7.1%	1.8%
やや良くなっている	37.9%	30.5%	28.3%	26.8%	35.1%
変わらない	41.4%	35.6%	47.2%	28.6%	29.8%
やや悪くなっている	17.2%	23.7%	22.6%	30.4%	31.6%
悪くなっている	1.7%	5.1%	1.9%	7.1%	1.8%

④ 県南地域

景気の先行き判断DIは53.6となった。前回調査より6.3ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		59.9	55.6	55.4	47.3	53.6
	家計動向関連	62.9	57.4	56.1	52.3	61.4
	企業動向関連	52.8	48.7	52.8	39.5	44.4
	雇用関連	65.0	70.0	60.0	45.0	35.0

表2-18 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	12.1%	5.2%	7.1%	5.4%	12.5%
やや良くなっている	32.8%	34.5%	35.7%	25.0%	21.4%
変わらない	41.4%	43.1%	37.5%	30.4%	37.5%
やや悪くなっている	10.3%	12.1%	10.7%	32.1%	25.0%
悪くなっている	3.4%	5.2%	8.9%	7.1%	3.6%

⑤ 県西地域

景気の先行き判断DIは44.7となった。前回調査より1.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

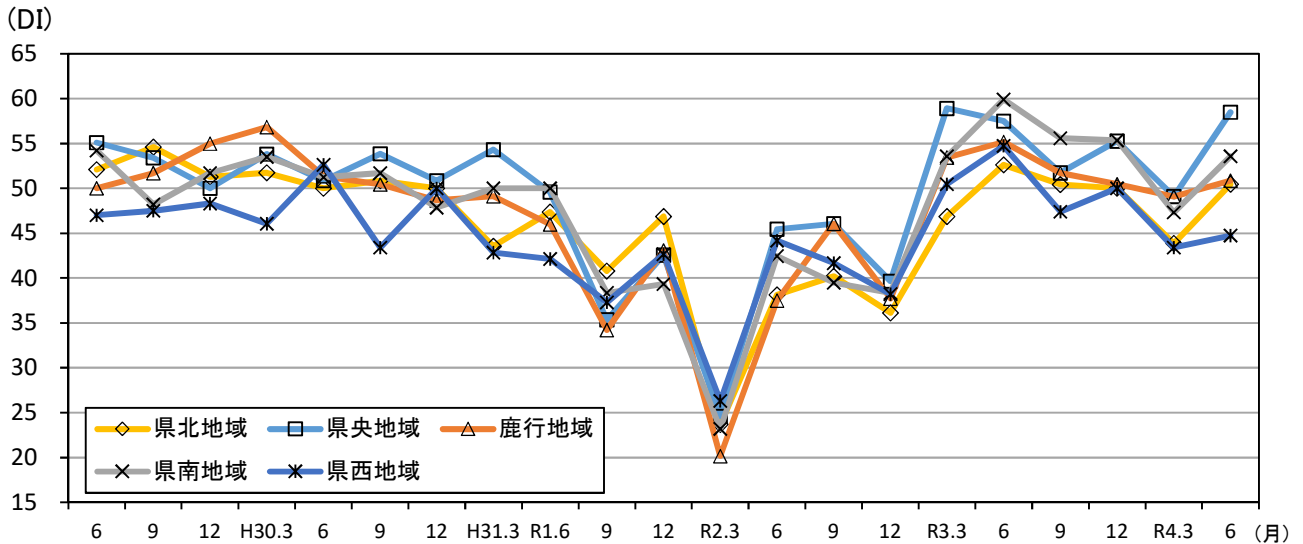
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
合計		54.7	47.4	50.0	43.4	44.7
家計動向関連		55.0	45.7	47.7	46.2	47.7
企業動向関連		50.0	47.2	51.4	38.2	36.8
雇用関連		70.0	60.0	60.0	45.0	55.0

表2-20 回答構成比

	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月	令和4年 6月
良くなっている	6.9%	5.2%	1.8%	0.0%	0.0%
やや良くなっている	34.5%	17.2%	25.0%	22.8%	28.1%
変わらない	39.7%	53.4%	51.8%	43.9%	33.3%
やや悪くなっている	8.6%	10.3%	14.3%	17.5%	28.1%
悪くなっている	10.3%	13.8%	7.1%	15.8%	10.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

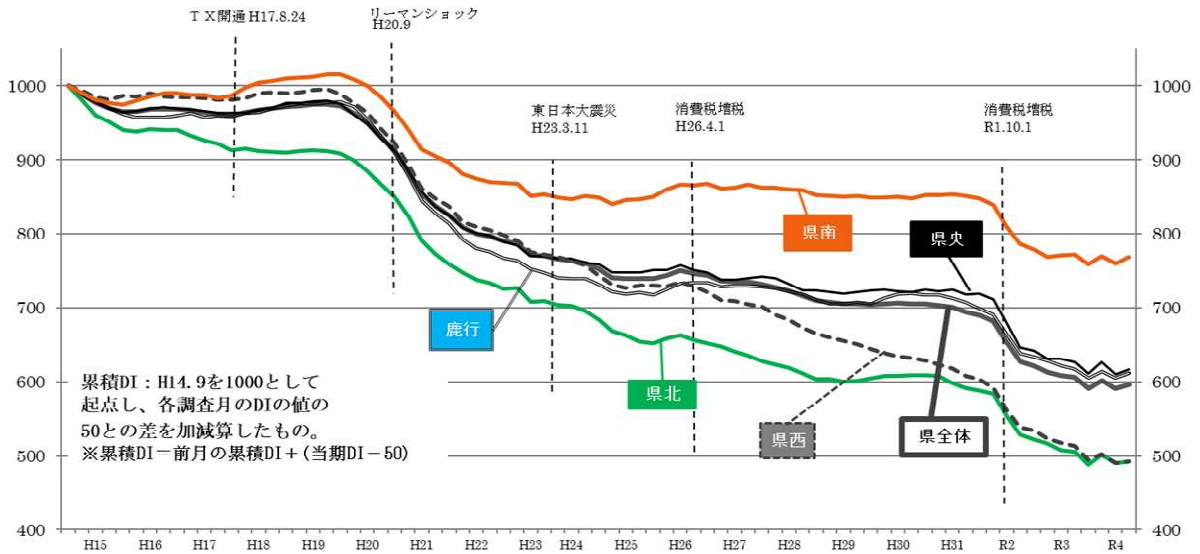


	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3月	R4.6月
県全体	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4	52.2	46.6	51.7
県北	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4	50.0	43.9	50.5
県央	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8	55.3	49.1	58.5
県南	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6	55.4	47.3	53.6
県西	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0	43.4	44.7
全国	50.7 51.5	51.0 50.4	52.0 51.3	50.9 50.1	50.1 50.9	51.1 50.7	47.7 47.0	49.2 47.9	45.3 46.3	36.8 36.7	45.3 44.5	20.1 18.7	43.5 44.8	47.1 47.1	36.9 36.1	50.2 48.6	51.1 52.6	56.6 56.7	50.3 49.5	50.1 48.4	47.6(季節調整値) 49.2(原数値)

(参考) 地域別累積DI

地域別景気ウォッチャー調査累積DI

(H14年9月=1000)



III 景気判断コメント — 1 景気現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業 (精密機器)	コロナ禍で滞っていた物流が少し動き出しているため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	夏の売上げが例年良好なため、やや良くなっていると判断した。
		小売業 (食料品)	新型コロナウイルスが改善されつつあるので、抑えていた消費行動に緩みが出たため、やや良くなっていると判断した。
		小売業 (食料品)	3月と比べ良くなっているが、資材等の値上げで先行きは不明。
		小売業 (弁当・惣菜店)	まだまだ新型コロナウイルスに対する自粛モードは強いが人の流れは出てきており、経済の回復傾向にはあると思われるため、やや良くなっていると判断した。
		小売業 (酒類)	新型コロナウイルスによる時短営業が解除され、多くの飲食店も普通営業に戻り、少しずつ活気が出てきている感じがするので、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	新型コロナウイルスの制限が少しずつ緩和されてきた事によって、内食需要から外食へ戻りつつある事が変化として感じられるため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	宿泊客数が3か月前の1.5倍になっており、日帰り宴会の利用客数も3か月前の約5倍に増えている。規制等がなくなったことにより、以前よりも外出や旅行へ気軽に行ける雰囲気になりつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	土日の自家用車の混雑が増え、コンビニの客が増加した。工場来客のタクシー貸切予約が少し出始めたり、観光タクシーの予約が少し出始めた。いば旅あんしん割の利用もあり、やや良くなっていると判断した。
		ドライブイン	売上金額の伸び率は106%、客数の伸び率は109%、客単価の伸び率は96.5%であったため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	コロナ禍前に戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスも終息に近づいている感じで、首都圏からの若い客も増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	物価上昇に伴う値上げがあるものの、目に見えて客足が減らないため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	宿泊での利用客がいば旅あんしん割などを通して増加。また、ゴルフ利用客も1組あたりのバック数 (利用人数) が対前年比で増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	季節や天候に左右される業種のため、冬と春の違いや梅雨時期などの影響を除くのが難しいが、団体での予約や県外からの来場が増えてきていることから、やや良くなっていると思う。
		設計事務所	最近は何れも問合せが多くなってきたため、やや良くなっていると判断した。
企業	製造業 (化学工業)	消費活動が全国的に回復しているため、やや良くなっていると判断した。	
	製造業 (精密機器)	部材の入手困難の状況は続いているが、受注がコロナ禍以前の状況に戻っているため、やや良くなっていると判断した。	
	金融業	屋外でのマスク着用要件の緩和など、新型コロナウイルスの対応に関するレベルが一段下がってきたとの認識を、客・地元住民から聞くことが多くなった。そのため、飲食サービス業の客数について回復基調が見受けられるため、やや良くなっていると判断する。	
	不動産業	GW明けで来客数は少なくなってくる時期ではあるが、例年と比べると来客数は増加しており、景気はやや良くなっていると判断する。	

変わらない	家計	小売業（食料品）	出張など企業の動きが多くなり法人需要は増加傾向にあるが、一般客は値上げラッシュの影響もあり客単価は下降気味である。原材料や資材などの値上げの影響がまだ出ていないため、トータルでは変わらない。
		衣料品販売店	当店では年配用の衣料を販売しているが、旅行やカラオケなどの企画がまだないのでお出かけ用の衣料が売れないため、変わらないと判断した。安心して出歩くのはまだまだだ。今後のイベント、旅行、集まりに期待している。
		小売業（水産物）	集客が伸び悩んでいるが、安価商品が人気であるため、変わらないと判断した。
		レストラン	売上げが上がっていないので、変わらないと判断した。
		スナック	飲食店の客が全く戻っていないため、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	今は値上りが次々とやってきて驚いている状態である。
		観光型ホテル	いは旅あんしん割の延長のおかげで、直近3か月は安定して数値実績が出ているため、変わらないと判断した。
		旅行代理店	個人旅行に関しては回復の兆しはあるが、団体についてはまだ新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、様子を見ている。団体に関しては慎重な動向が見られるため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	街にも飲食店にもあまり人が増えていないため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	市内のコロナ禍の状況が相変わらず悪く、飲食店など再開したがまだまだ人流が戻ってきていない。タクシーの受注もまだまだ戻ってきていないため、変わらないと判断した。
		ボウリング場	大企業から2年ぶりに予約が入った。
		写真店	予約件数等の反応がこれまでとあまり変わらない。
		企業	製造業（電気機械器具）
製造業（電気機械器具）	3か月前と受注等変わらない。		
製造業（その他）	新型コロナウイルスの感染者が減少傾向にあり、人の往来が徐々に可能になった点で今後に期待が持てるようになった。しかし一方で原材料の値上げが相次いでいるほか燃料費の高止まりなどマイナス要素もあり、景気観は相殺されてしまっていると感じているため、変わらないと判断した。		
建設業	取引先の話では県北地域では横ばいから少し動き出しが感じられるとのこと。また他県の県央地域でも同じような感じとのことなので、変わらないから少々上向き感が出てきているとは思いますが、変わらないと判断した。		
非製造業（その他）	依頼作業（ソフトウェア開発業務）自体はある。ただし、客の発注タイミングが少々遅れつつある感じのため、変わらないと判断した。（景気動向ではなく、コロナ禍での在宅勤務によるコミュニケーション不足が原因）		
雇用	公共職業安定所	求人倍率が横ばいのため変わらないと判断した。	
	学校就業関係者	来校者や取引業者の方々の話を聞くと、特に変わった様子を受けなかったため、変わらないと判断した。	
	求人開拓員	県北地区においては、企業からの求人も増えていない。また新規求職者も特段増えていない状況であるため、変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	メモ紙を見ながらスマホで計算しながら買物をしている客が増えている感じがする。少しでも安くすませるように値引き商品を買う客が増えているため、やや悪くなっていると判断した。
		自動車販売店	中国のロックダウンとウクライナ問題で経済が回らなくなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（時計）	中級品以上が動いていないため、やや悪くなっていると判断した。
		美容室	コロナ禍前に比べて客足が日に日に悪くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		企業	林業関係者
水産業関係者	全般的な値上げ傾向を前回より顕著に感じたため、やや悪くなっていると判断した。		
製造業（金属製品）	売上げが低迷。問合せが少なくなっているため、やや悪くなっていると判断した。		
製造業（電気機械器具）	資源や物価の高騰で、予算などの見方が厳しくなっているため、やや悪くなっていると判断した。		
製造業（電気機械器具）	材料、部品の入手困難など、また取引先の在庫調整により、生産数の調整があるため、やや悪くなっていると判断した。		
雇用	求人広告	長引くコロナ禍や、世界情勢の不安から来るダメージが出てきているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	スーパー	今年は梅雨入りが昨年より1週間早いですが、それ以前から客数前年比92-95%と非常に厳しく推移している。客単価の上昇もそれほどみられない。加えて電気代の高騰が、ここ3か月で中小企業には耐えきれないレベルで上がっている。基本料金・従量料金の値上げは勿論だが、燃料費調整額が昨年度-20万円から+20万円の差額40万円も上昇している。前年から40%の増で経費が急増しているため、悪くなっていると判断した。
		企業 製造業（食料品）	資材高騰、販売価格減、販売個数減のため、悪くなっていると判断した。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	バス運転手	新型コロナウイルスの第5波が落ち着き、新年度の到来とともに人の動きが出てきた。GW時に人の動きが活発になった後の感染者増が懸念されたが、現時点ではその兆候もなく、東京方面へ行き来する人の数も週末を中心に増えているため、良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向にあるため、3か月前と比較すると良くなっていると判断した。
やや良くなっている	雇用	公共職業安定所	有効求人数が前年同月比7か月連続でプラスとなっている。有効求人倍率が前年同月比12か月連続でプラスとなっているため、良くなっていると判断した。
	家計	商店街代表者	商店街を歩く人の数が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業	今月は、夏物プロバーが商戦の時期で、盛夏商材の投入・施策の実施によりロイヤリティの高い顧客の動員強化の重要な月である。前半はハウスカードホルダーに向けた招待会、中盤よりお中元、後半より一部先行の割引がスタートする。本年は前年に対し招待会の会期を延長し顧客集客が高まり客単価向上となり、今月の売上高前年比が3か月前(3月)の前年比を上回っているため、景気はやや良くなっていると判断する。
		スーパー	来店客数は増加している。家族での買物が増加しているためだと思う。当然、買上点数も増加しているため、やや良くなっていると判断した。以前より、一人で買物する客は変わらない。
		スーパー	3か月前は、まん延防止等重点措置がとられていたが、今はないので少しずつ人出が戻っているため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	値上がりの影響はあるが客足が回復傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの状況が緩和し、観光等外出が増えていと考えられ、実際に客数の回復が見られるため、やや良くなっていると判断した。
		酒・各種商品小売業	まん延防止等重点措置も解除され感染も落ち着いてきた感もあり、周りの人達も飲みに行く事が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		楽器販売	GW明けから、少し高額の商品に動きが出てきている。見積り相談や正式な発注まで出ており、市場が動き出している感があるため、やや良くなっていると判断した。
		農産物直売所	来場者数の増加や県外ナンバーの車の来場が多い。持ち帰りギフト商品の動きも活発である。飲食店の仕入れの買物も戻ってきているため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	3回目のワクチン接種も終わり、少しずつ外出する人が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		割烹料理店	夜、酒を注文する客はまだまいちだが、昼の客はコロナ禍前と変わりなくにぎやかなような気がするため、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	GWの客の状況がコロナ禍前に戻ってきている感じがするため、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	以前より懇親会の利用が増えている。レストランを利用し宿泊も利用する客が増加し、全体的に戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	本業(旅行)の依頼が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		旅行会社	たくさんの予約が入ってきているため、やや良くなっていると判断した。コロナ禍が落ち着いてきているからだと思う。
		タクシー会社	乗車回数、売上げ共に増加傾向となっているため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー会社	水戸駅を中心とした乗降客が増加して、タクシーの利用も増えてきている。また、飲食店の活気が少し見えてきたように感じるので、送迎等の依頼も増加傾向にある。学校関係では、部活が日常に戻りつつあり送迎予約依頼が入ってきている。観光関係では、県内の観光問合せが増加傾向にあり予約等も増えているので、観光タクシー予約依頼の件数が少し伸びてきている。高齢者の外出も日常に戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	新型コロナウイルスに対する不安や恐怖感が薄れてきた。出かける頻度や時間、距離が伸びたし、増えたように感じるため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染者数の減少により、外出傾向が強まり、施設利用者は予定どおりに推移し始めており、回復傾向である。よって景気マインドは上昇していると感じられるため、やや良くなっていると判断した。
		ボウリング場	3か月前の前年比より今の前年比が上がっているため、やや良くなっていると判断した。
	設計事務所	引き合いが多くなって来た。設計業界は全般的に忙しい状況のため、やや良くなっていると判断した。	
	農業関係者	新型コロナウイルスも落ち着いてきている。活動も活発になり景気が戻ってきていると思うので、やや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業(食料品)	GWにおける観光系受注の回復が見られたため、やや良くなっていると判断した。
		製造業(窯業・土石製品)	見積り依頼が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
	雇用	人材派遣業	昨年より受注が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。

変わらない	家計	商店街代表者	円安や物価の上昇は話題になるが、購買意欲はそんなに変化はないように感じるため、変わらないと判断した。
		スーパー	新型コロナウイルスの感染者数も減少し、県内観光地の賑わいは増えている。外食はファミリー層を中心に増えている。原材料の値上げに伴い、消費者の節約傾向が見受けられるため、変わらないと判断した。
		小売業	3か月前も売上げは低調であり、引き続き同じような状態が続いているため、変わらないと判断した。
		自動車販売店	来店数、購買に関しても変化が見られない。
		割烹料理店	まん延防止等重点措置が明けても、まだまだ客の戻りが悪くて売上げが上がらない。観光地などでは人が戻って来ていると聞いているが、日常的には厳しい状態が続くと感じているため、変わらないと判断した。
		観光名所	来場者数はやや増加傾向だが客単価はあまり変わらないため、3か月前と比較して景気は変わらないと判断した。
		スーパー銭湯	3月21日まではまん延防止等重点措置などもあり時短をしていた部分もあるが、消費行動は活発になってきた時期であり、5月GWまでは消費行動が活発に感じた。GW以降消費活動に弱りが見え始めてきたように感じている。トータルすると変わらないか、やや悪くなっているように感じる。
		ゴルフ場	来場者数、売上げとも3か月前と比較し大差ないため、変わらないと判断した。
		理・美容店	当店は年齢層が高いので、外出する機会が少ないと来店回数が減っているように思う。3か月前と比較して、変わらないと判断した。
		企業	製造業（印刷・関連業）
製造業（一般機械器具）	工場内の状況がここ3か月間であまり変化していない。		
製造業（一般機械器具）	半導体不足による自動車の減産が影響しているため、変わらないと判断した。		
製造業（輸送用機械器具）	半導体供給不足、半導体の値上げ、材料の高騰、高値継続が予測され依然として厳しい状況にあり、売上げ並びに業績悪化の懸念継続しているため、変わらないと判断した。		
運輸業	現状、顧客製品の出荷台数も横ばいでそれほど変わらない状況である。		
運輸業（道路貨物運送業）	コンテナ不足による輸出入貨物の停滞や半導体不足の影響が大きく、新規の保管や運送貨物については製品が組み上がらない部品の問合せがほとんどである。		
金融業	新型コロナウイルス感染症防止対策の緩和が見られるものの、物価は上昇傾向にあり、3か月前と比べ、周辺の客足は固定客に限定されている状況が続いており、景気は変わらないと判断した。		
情報通信業（情報サービス業）	特に変わらない。		
雇用	求人開拓員	当所を利用する利用者の人数、取扱をした求人件数・人数共に明確な変化はみられない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	商品価格が高くなり、嗜好品の購入が減っているため、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	5月は例年並みに推移したが、6月は予約の動きが悪くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		写真店	まだ新型コロナウイルスの影響で急な仕事の延期やキャンセルがあり、仕入れ価格の値上げで売上げが減っているため、やや悪くなっていると判断した。
		住宅販売会社	原油高や資材高騰の影響が出始めたのか、建物関係の金額が上がり客の動きが鈍いため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（精密機器）	売上げの数値で判断する。2月～3月ほどは良くないため、やや悪くなっていると判断した。
建設業		先が見えないため、やや悪くなっていると判断した。	
建設業		資材、燃料、食料あらゆる価格が上昇傾向にあり、収入と支出のバランスが崩れているように感じるため、やや悪くなっていると判断した。	
不動産業		分譲マンション・注文住宅共に、新規の来場者が伸び悩んでいるため、やや悪くなっていると判断した。	
サービス業（コンサル業）	物価高により、やや悪くなっていると判断した。		
雇用	求人広告	物価上昇に伴う仕入れ価格高騰がきついため、やや悪くなっていると判断した。	
	学校就業関係者	ウクライナ情勢の影響だと思うが、原材料費、原油、LNGなどの価格不安定により諸物価の高騰が続いているが、給与水準は変わっていないため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	レジャー施設	燃料費の高騰に直面し、ボート、ヨットに対する燃料販売数量が減少している。また、一部の客からも売上げが悪く景気が良くないとの話を聞いているため、悪くなっていると判断する。
		企業	製造業（精密機械器具）

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	現在、周辺は工業地帯の定期修理があり、多くの業者が出入りしていることにより、近隣店舗は大きく売上げが上がっているため、良くなっていると判断した。
		農産物直売所	新型コロナウイルスが落ち着いてきて、来店客数が増えたため、良くなっていると判断した。
		クリーニング店	今は繁忙期なので忙しいが、今年の今頃と比較すると忙しい感じがするため、良くなっていると判断した。
雇用	民間職業紹介業	受注数も順調に増えてきており、減産等の話を聞かないため、良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	スーパー	海外情勢の影響を受けた工場の稼働停止などもみられたが、個人消費関連の持ち直しが続き、上向き傾向。
		コンビニエンスストア	まん延防止等重点措置が解除になり、人の動きが活発になってきたため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスが落ち着いて人の動きが活発化して来た。今月の売上げが3か月前対前年比より良くなっているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（薬品店）	客数前年比が改善しているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業	最近、新型コロナウイルスの感染者数もだいぶ減り、中止されていた事が開催されたり、個人・法人共に動きが変わったように感じるため、やや良くなっていると判断した。
		和食レストラン	行動制限緩和の影響もあり、来店客数の回復が見られたことから、やや良くなっていると判断した。夜間の来店客数の戻りが若干鈍いため、良くなっているとは判断しなかった。
		洋食食堂	テイクアウトを中心に出数が増えている。単価の高い商品の注文が多くなっているため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	コロナ禍で経済がストップしていたものが動き出したので良くなっていると判断した。飲用店ではまだ夜の酒を含んだ会合が戻らない上に材料費高騰が響いているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	宿泊者の予約が少し増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		運転代行	多少売上げが伸びてきているので、景気はやや良くなっていると判断した。週末の予約も増えてきている。
		旅行代理店	新型コロナウイルスのワクチン接種で、いば旅あんしん割を使い予約が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	団体客も徐々に増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスが減少し、また制限が解除され人の動きが活発になった。その結果、入館者、売上げとも前年比を上回っている。土日祝日は家族連れ、子供の利用が増えたため、やや良くなっていると判断した。
		住宅販売会社	リフォームの問合せが増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		企業	製造業（電気機械器具）
運輸業（道路貨物運送業）	前年対比で見ると毎月微増ではあるが、アップ傾向に向いているため、やや良くなっていると判断した。		
保険業	自動車保険は増えないが、生命保険が少し増えてきているため、やや良くなっていると判断した。		
雇用	人材派遣業	現在の繁忙の対応と、長期的な視点から人材確保ができておらず、採用意欲は高い。特に若年層の確保ができないように思う。	
	公共職業安定所	新規求人数が少しずつ増加してきている。雇用調整の動きが規模、件数ともに減少傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	3か月前と比較して客数に変化がない。
		衣料品販売店	徐々に新型コロナウイルスが終息してきて景気が良くなってくればいいが、物価高の影響で売上げは変わらないと思う。
		農産物直売所	悪い意味で変わらない。人の出が増えてはいるわけでもなく、購買意欲も変化がない。
		小売業（薬品店）	相変わらず受診抑制、長期投与患者が多いので処方箋枚数は増えない。
		小売業（食品）	市場関係の動きが悪いので影響が大きい。
		割烹料理店	なかなか多人数の予約は見込めず、フリーの来客もまだまだ少ないため、変わらないと判断した。
		観光型ホテル	3か月前と比較して宿泊利用者は増えているが、物価は上がっているため、あまり変わっていないと判断した。
		タクシー運転手	マスクを外して日常生活ができない以上、景気回復はできないと思う。だんだんと発生率が減少傾向にあるが、まだ油断できない。一日も早く新型コロナウイルスがなくなるように願う。
		ゴルフ場	昨年と状況の変化が見られない。
ゴルフ場	新型コロナウイルスが落ち着き需要増加傾向も感じるが、物価高の影響で料金にはシビアになっている感がある。		

変わらない	企業	製造業（その他）	新型コロナウイルスの影響で、昨年は月単位で20%程度売上げが減少していた。今年に入り10%程度回復しそのまま推移しているため、現在と3か月前の状況は変わらない。
		製造業（一般機械器具）	見積り件数が変わらない。
		製造業（鉄鋼業）	足元、状況の変化は感じられない。
		製造業（金属製品）	原油をはじめ、すべての物資の値上りは、企業や一般社会への影響があまりにも大きすぎる。現代社会における戦争はあってはならないと思う。
		建設業	市場の動きが鈍化している。
		建設業	アフターコロナとは言え顧客の減少が戻らず、飲食店は厳しい状況である。建設業の個人工事の発注工事でも材料の高騰を受け少ない状況。不動産業は新型コロナウイルスの影響を受け都内からの客が多く好調との事である。
		運輸業（道路貨物運送業）	中国のロックダウン等で物流の動きがあまり良くなかった。
		不動産業	毎年2～3か月位だが、大手企業の定期修理のためホテル等は工事関係者の客で100%に近い空室なしの状態のようである。6、7月に宴席のため（60人位）他県のホテルに行ったが客がほとんどいなかったのは驚いた。
		サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスが落ち着いてきたことにより飲食店等の営業が再開され、消費が回復に向かいつつあると思われる。しかし、食料品や燃料費等の値上がりにより原価や経費が増加しているため、3か月前の景気と変わらないと思う。
家計	商店街代表者	原油・天然ガスなどのエネルギー価格や穀物価格等の上昇により生活に係るものの値段が上がっているため、景気は良くはないと感じている。	
	住宅販売会社	貸家を探す客の予算が下がっている。安い物件に問合せや入居があるため、やや悪くなっていると判断した。	
やや悪くなっている	企業	農業関係者	農産物の生産に伴う肥料等が急激に高騰し、大幅に収支が悪化している状況であるため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	オミクロン株が落ち着き始めた3月頃は人出もありやや良くなってきたが、ロシアのウクライナ侵略や円高による物価高が可処分所得を圧迫しており、最近は消費が落ちているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	3月は値上前の駆け込み需要発生により、水産缶詰製品の販売増となったが、4月以降は食品の家庭内消費が急速に落ち込み、魚介缶詰も直撃される形となった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い急増した保存食品に対する特需が感染者数の減少と共に低迷し、魚介缶詰の一世帯あたり支出額は鯖缶詰ブーム前の水準まで減少したため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（ゴム製品）	客先よりオーダーが減っているため、やや悪くなっていると判断した。
		金融業	新型コロナウイルスの影響は依然として継続しており、飲食業を中心とした接客業は売上げ回復に至っていない状況。加えてウクライナ情勢に起因した原油価格高騰の影響が、燃料費だけでなく様々な品物の値上げを助長しており、幅広い業種において原価高騰し利益を圧迫しているため、やや悪くなっていると判断した。
		不動産業	3か月前は業種的に繁忙期のため、今月と比較すると悪くなっている。
		サービス業	例年、年度初めは引合が少なく、6月以降に受注が増える傾向ではあるが、今年は昨年に比べても1/4期の発注、引合が少なく動きが鈍いと感じる。現時点では、国際情勢の動向（ウクライナ、円安、半導体等）を観察しているようであり、しばらくは我慢が続くものと考えられる。
雇用	学校就業関係者	ガソリン、鉄や銅等の値段が高止まりしているため、やや悪くなっていると判断した。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスや海外での抗争による食品等の物価高により、家計に及ぼす影響は悪化する一方。相談者や企業の担当者から出てくる言葉も常に似たようなことだらけなので、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	小売業（書店）	人の出が悪く、物価高の影響が大きいため、悪くなっていると判断した。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスに対して一定の許容がされつつあることから、外出する人が増えてきたことに伴い、客数増加、客単価も上昇し売上げが約10%増加したため、良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	特に週末は、道路の渋滞などを確認すると人流が増加していることがわかる。平日もテレワークが少なくなってきたり、通常通り会社に出勤している人が増えているため、良くなっていると判断した。
		小売業	5月6日からの県のコロナStage1移行を受け、慎重だった客も通常の経済活動に戻りつつある。施設売上げも前年をクリアし3か月前比プラス7ポイントと上昇、買上単価も前年並みとなる。コロナ禍前の2019年比でも90%後半まで回復している。梅雨入りが早く6月前半はやや苦戦するも、売上げ・来館者数とも前年を超えている。テレワークから通勤に変更する会社も多く、営業時間が通常の夜10時までに戻ったことで、平日の夜の来館客数は伸長している。これらの事から、良くなっていると判断した。
		和食食堂	コロナ禍はまだ続いているとはいえ、ワクチンの2回接種も進み、新しい生活に完全に慣れた。春～夏の季節も後押しして、外出欲も高まっている。去年、一昨年と比較しても、客数、売上げとも増加傾向であるため、良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスに感染しても重症化せず普通に仕事を再開し始めた会社が多く2年前と同じ水準にまで戻ったような状況。ほとんどの客がワクチン接種済ということも行動を促進しているものと思われるので、良くなっていると判断した。
		タクシー会社	チケットの集計で、1か月で10万円以上もタクシーの売上げが増えたため、良くなっていると判断した。
		サービスエリア	まん延防止等重点措置解除後から、外出自粛の雰囲気はかなり緩和され、観光利用の客が増加している。GW後もバスによる旅行客、学生スポーツの団体等による立ち寄りが、平日休日問わず見られるため、良くなっていると判断した。
		テーマパーク職員	屋外での活動や余暇、レジャーにおいては、コロナ禍での自粛傾向から、コロナ禍以前の人や経済の流れに戻りつつあり、アウトドア業界に関しては、以前よりも注目、人気共に向上しているように感じられるため、良くなっていると判断した。
		ボウリング場	3回目のワクチン接種を終えた方の割合が増え、新型コロナウイルスの感染者数が減ってきているためか、団体客やファミリー層が増加している。これからどんどん景気が回復してくると感じる。
やや良くなっている	家計	スーパー	6月度直近の前年比は客数96.0%、客単価96.7%と前年割れとなっているが、昨年はスーパーマーケット業界は新型コロナ在宅特需がまだあった事、また自店商圏内に昨年12月と今年5月末に競合店が出店している事を考慮すると落ち幅が想定より小さいので、全体の景気は上向きと判断する。
		小売業（生花店）	事務所移転や事務所の新築等の御祝が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（米穀）	確実に人の流れは増えているため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	3か月前の前年比と今月の前年比を比べると、時短営業がなくなり今月の方が良くなっているため、やや良くなっていると判断した。
		スナック	昨年や一昨年に比べ、客数は徐々に増えてきているので、景気はやや良くなってきていると判断した。
		都市型ホテル	宿泊においては稼働が上がっており、ビジネス利用が主となる。当ホテルは徐々にではあるがコロナ禍であっても出張されるビジネスマンも増えていると実感している。また、リネンの洗濯代の値上げなどもあり、客室料金の値上げを検討しており、仕方がないといった形である。直営のレストランについては日用品の相次ぐ値上げの影響もあるが今月は厳しい状況となる。
		タクシー運転手	日中の人出が平日休日問わず増加しているため、やや良くなっていると判断した。夜に関してはまだまだ平常には戻りそうにない状況である。
		タクシー運転手	コロナ禍で外出を控えていた方が出歩いて、街も活気が出て来ているため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスが落ち着いたため、利用者が増加しつつあるので、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	自身の仕事の売上げが伸びたため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	来場者のメンバー・ビジターの比率に変動がみられない。コンペなどの開催も幾分増えつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	業界全体の売上げについて、2月については前年同月比で110%の増であった。5月についても同様に前年同月比で110%の増となっているが、新型コロナウイルスの流行が収まり、当施設以外のレジャーを選択する方が増えていることを勘案すると、景気はやや良くなっていると考えられる。
		企業	製造業
（窯業・土石製品）	まん延防止等重点措置期間中は売上げが減少していたが、解除になってから少し上昇傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。		
（その他）	取引先の注文が増えているため、やや良くなっていると判断した。		
不動産業	コロナ禍、リモートで仕事が出るため県外からの移住を検討する方が増えたため、やや良くなっていると判断した。		

変わらない	家計	和食食堂	観光客が少ないため、変わらないと判断した。
		都市型ホテル	宿泊稼働率及び婚礼、宴会等の受注状況、またレストラン入客状況も3か月前と比較してあまり変わらない。Withコロナの状況であり、GW後の感染拡大などの恐れもなく、予約状況も変わらなかった。
		ゴルフ場	コロナ禍が落ち着き始めているが、戦争の影響で物価が上がっている。以上のことから考えて結果は変わらないと判断した。プレーヤーは増えても諸経費（材料費・光熱費・燃料費等）が増えれば変わらない。
		理・美容店	人出は増えているが同業他店の新規開業や、価格の値下げなどによる自由競争による対策不足から客足は伸びていないため、変わらないと判断した。
		理・美容店	動向が変わらない。
変わらない	企業	農業関係者	3か月前と現在を比較して、物価等の上昇はあったものの、特段、景気面等での変動は感じられなかった。
		農業関係者	6月期（初旬まで）の来客数・客単価を3月期と比較すると両者とも増加傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（非鉄金属）	半導体不足のため、変わらないと判断した。
		製造業（一般機械器具）	特に変化はなかった。
		建設業	材料が高騰しているため、変わらないと判断した。
		建設業	3か月前は年度末であり、工事受注量が多いのは当然である。今月が年度初め、工事がようやく出てきたところであり、それほど受注量は多くない。年度末の特殊要因を差し引けば、今月は前年度と同じ程度の受注量があり、景気は変わらないと判断した。
		建設業	商品の値上げ、品不足にて注文しても納期が出ず、3か月前と比較しても変わらない。1月から5月まで売上げが上がらず、受注しても納期設定できず入荷待ちの状態である。
		運輸業（倉庫業）	貨物の動きが大きく変動していない。
		金融業	まん延防止等重点措置が執られないゴールデンウィークを迎え、明らかに前年同時期より人の動きが活発化しており良化の兆しが見られた。その反面、ウクライナ情勢の影響による円安、物価高や物流停滞、半導体不足問題など不安定要素も多く、総体的には3か月前と比較し景気は変わらないと思われる。
		不動産業	県南地域に関しては特に変化は感じない。
変わらない	雇用	民間職業紹介業	企業の受注数はあるが、半導体や部品納品遅延等により製造業の増産対応出来ないため、変わらないと判断した。
		求人広告	3か月前と比べ世情に変化もなく、客からの発注量も増えていない。
		公共職業安定所	新型コロナウイルスが落ち着きを見せており、求職活動が活発になりつつある中、求人数の増加は緩やかであるため、変わらないと判断した。
		学校就業関係者	学生への求人数での判断となるが、3か月前と同水準で求人数が増えているため、変わらないと判断した。
やや悪くなっている	家計	家電販売店	客数の減少、商品の値上げ増加や供給不足など、販売に結びつかない状況が散見されるため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	単価が上がったが、売上げは変わらない。買上げ点数が落ちているため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	原材料の不足等により値上げや品薄が続いており、消費意欲が欠けているように感じる。様々な要因はあるが、客数、売上げとも前年を割っているため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	6月は梅雨の時期であり、梅の実の販売が増加する時期であるが、今年は梅の実は不作で入荷量が少なく、売上げ減少の原因になっている。客数は増加しているが売上高はいまひとつで客単価が伸びていないため、やや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	とにかくコロナ禍の回復、ウクライナの終戦などそして株の下落。これらの上向きがなければ景気は良くならないと思う。
		設計事務所	新規の客が来ていないため、やや悪くなっていると判断した。
		悪	企業
製造業（印刷・同関連業）	資材等の仕入れ価格、外注費等の高騰による。新型コロナウイルスで落ち込んだ受注数もコロナ禍前の水準に戻っていないため、やや悪くなっていると判断した。		
製造業（窯業・土石製品）	物価の高騰により、やや悪くなっていると判断した。		
製造業（窯業・土石製品）	原材料の値上げが続いており、製品単価への価格転嫁が遅れているため、やや悪くなっていると判断した。		
悪	雇用	求人開拓員	ファンダメンタルな面からみると、コモディティ商品の値上がり感が徐々に肌感覚でも感じられるようになってきたと思う。町のスーパーを定点で見ているが、買物客の買物点数が少し減ってきているように思う。商品単価も10%前後上がっているのではないだろうか。
悪	家計	スーパー	1品単価は上昇しているが、客数減もあり前年クリアができていないため、悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント		
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	近くのスーパーマーケットが改装工事を行っているので、良くなっていると判断した。		
		コンビニエンスストア	昨年タバコを増税したにもかかわらず販売数が全く落ちていない状態に加えて、新型コロナウイルス対策の緩和から人流が増加傾向にあり小売店にとっては景気回復傾向の認識となっているため、良くなっていると判断した。		
		食堂	人の動きがかなり活発になってきているように感じるため、良くなっていると判断した。		
やや良くなっている	家計	農産物直売所	新型コロナウイルスの感染拡大防止策が緩和され、若干ではあるが来店客（県外含む）が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。		
		小売業（酒類）	新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、飲食店が通常営業の体制になってきたので仕事量は確実に増えた。しかしながら値上げやウクライナ情勢をうけてなのか思っているほどの人の動きを感じられないので、良くなっているというまでには至らない。		
		レストラン	飲食店も感染拡大の規制を解除したことによって、客も少しずつ増えてきているため、やや良くなっていると判断した。		
		日本料理店	3か月前と比較すると少人数の予約・問合せが増えてきた。特にランチタイムはコロナ禍前と同じくらいに戻ってきているが夜の飲み会や宴会は少ない。		
		和食レストラン	5月のGWに行動制限がなくなったために客足が増えた。やっと底は脱したと思うので、やや良くなっていると判断した。		
		都市型ホテル	4月末までは宴会利用客はほとんどなかったが、GWが明けて、5月中旬から宴会利用が始まったため、やや良くなっていると判断した。		
		旅行代理店	2020年2月からコロナ禍が始まり旅行客が9割以上減ったが、感染者の減少と消費者である客の認識が変わり、旅行相談や申し込みが増えているため、やや良くなっていると判断する。		
		タクシー運転手	客足が少し上向いていると思うので、やや良くなっていると判断した。		
		タクシー会社	新型コロナウイルスが落ち着いてきたのか利用者が若干戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。		
		観光型ホテル	外出する気分になってきていることからしても、体感的には良くなってきていると思う。しかし、当方の仕事上からすると業態的に団体客を受け入れる劇場型のシステムとしてはまだまだ動きを感じられない。問合せは以前より増えてきたので期待はしている。		
		道の駅	新型コロナウイルスも落ち着き始め、観光客も動き出したため、やや良くなっていると判断した。		
		道の駅	新型コロナウイルスが少しかだけ収束し始め、バスツアーなどのバスが少しずつ増え始めたように思う。また、一般客も少しかが増え始めているように感じるため、やや良くなっていると判断した。		
		ゴルフ場	コロナ禍の規制緩和もあり、ショッピングモールの利用客や交通量も増え、特に週末の行楽地が混雑している。ゴルフのクラブなどの購買意欲も高まり問合せも増えているため、やや良くなっていると判断した。		
		レジャー施設	新型コロナウイルスの影響等による外出自粛が解かれてきており、減少していた来園者が戻りつつある。有料施設予約・利用件数の増加等、売上げ額が上向きにあるため、やや良くなっていると判断した。		
		レジャー施設	平日の来館者の増加や人が集まる機会が増えており、それに伴う商品の需要が高まっていると感じるので、やや良くなっていると判断する。		
		理・美容店	通常に戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。		
		クリーニング店	昨年同月対比で数値が上昇しているため、やや良くなっていると判断した。		
		企業	企業	製造業（金属製品）	コロナ禍で低迷している世の中で弊社の材料も高騰している。だが、売上げは少なからず伸びているため、やや良くなっていると判断した。
				製造業（化学工業）	半導体需要旺盛が継続し、半導体関連材料の好調継続により、やや良くなっていると判断した。
				製造業（電気機械器具）	受注増による人員要請（増員要請）が増えているため、やや良くなっていると判断した。
サービス業（コンサルタント業）	少しずつ人の外出が多くなったような気がするので、やや良くなっていると判断した。				
雇用	求人広告	少ない予算でも広告の成果が出るようになり、その成果の先に「人流がある」「経済を回そうとしている」という様子がうかがえる。また、WEBの集客に力を入れる相談もかなり増え、経済を積極的に回そうという意志も感じられるため、やや良くなっていると判断した。			

変わらない	家計	衣料品販売店	これ以上悪くなるとは思えない。落ちる所まで落ちている。
		自動車販売店	依然として商品の入荷がなく、売上げとして成り立たない。
		メガネ・時計販売店	売上げが大きく変わらない。
		ゴルフ場	来客数、売上げ等、数値的に横ばいの印象。
		商店街代表者	まだまだ苦しい状況が継続していると感じる。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	受注数に大きな変化がない。
		製造業（電気機械器具）	仕入れ部品、材料の値上がりが依然として続いており、リードタイムも一部わからないような現状もあり、変わっていない。
		製造業（金属製品）	受注件数、引合い件数ともに不安定な状況に全く変化はない。要因となることが幾重にも重なっているからだろうか。
		建設業	特に変化を感じない。
		建設業	民間工事も見積から決定までがなかなか難しい。設備投資も最低限の工事が多い。
雇用	金融業	新型コロナウイルスの影響は減少しているものの、運送業において燃料価格が高値のまま維持されている影響があり、全体としては景気は変わらない状況にある。	
	人材派遣業	人材の依頼が少ない。	
	人材派遣業	季節繁忙を除いても多くの物流倉庫業から物量増加の情報が入っている。半面、半導体不足やウッドショックにより一部の家電・電子機器・ハウスメーカーは引き続き低調、加えて大手製造業の問題も後押しして局地的だが採用凍結の企業があるため、総合して変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	学校就業関係者	企業からの求人推移は、昨年度と変わらない。
		商店街代表者	新年度の販売が落ち着いてきたため、やや悪くなっていると判断した。
		商店街代表者	材料の値上げをもるに受け、商品の値上げを余儀なくされ客数が減ったため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	物価上昇のため、やや悪くなっていると判断した。
		旅行代理店	燃料代が高くなった。全体的に高値になっているのが目立つ。旅行へ行く人（行きたい人）の声を聞くが、実際に参加する方は少ない。募集しても集客が少なくて実行できないのが現実だ。3~4名では出発不可。
	企業	設計事務所	価格高騰による、事業進行可否の見極めをしている様子のため、やや悪くなっていると判断した。
		農業関係者	青果物の販売関係について、例年に比べて価格が安定しているものの、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や円安の影響により、燃料や肥料価格の高騰が続いており、厳しい経営環境に立たされているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	円安の影響を懸念する声が大きいため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（金属製品）	原材料の高騰、電材部品の納入遅れなどの影響で、やや悪くなっていると判断した。
		不動産業	客が売買に慎重になっているため、やや悪くなっていると判断した。
雇用	求人開拓員	新型コロナウイルスの影響はまだ続いている。最近の物価上昇により景気はさらに悪化しているように感じている。	
悪くなっている	家計	スーパー	客数、買上げ金額、来店回数が大きく低下しているため、悪くなっていると判断した。
		製茶販売	景気が良くなったという話を聞かないし、実際我が家も苦しい。
	企業	畜産業関係者	円安、飼料高騰などの影響により、悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	原料費、燃料費などなど全体的に値上げ傾向にあるため、悪くなっていると判断した。
		製造業（印刷・同関連業）	為替レートが円安になり紙が値上がりし、ウクライナの戦争により原油・ガスが高くなり電力料金が上がりすべての経費が上がっている。しかし、製品価格は変わらず、経営が極めて難しくなっている。
製造業（窯業・土石製品）	3か月前が想定より良かったので現状が悪い。これが本当の姿なのかもしれないが、思った以上に悪い。墓じまいが多く、新規に墓を建立する人が年々ないとの話を小売店の方から聞く。石材加工卸業は中国のメーカーとの競合で厳しい状況である。		

III 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	夏の売上げが例年良好なため、良くなっていると判断する。
		レストラン	今の状態が続けばという条件だが、このまま落ち着いてくれば確実に景気は良くなっていくと思われる。
	企業	製造業（電気機械器具）	下期（10月～）の受注が増えているため、良くなっていると判断する。
		製造業（精密機器）	部材の入手状況は、少しずつ改善されると考える。受注は引き続き良好のため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	小売業（食料品）	現況より消費行動が可能になるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（弁当・惣菜店）	コロナ禍前に戻るまでにはもう少し時間はかかると思うが、回復傾向は変わらないと思うため、やや良くなっていると判断する。
		衣料品販売店	このまま新型コロナウイルスが収まれば、3年前までといかないまでも少しずつ良くなると思う。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスの制限解除により、少しずつ外出・買物に出かける方々が増えてくると予想しているため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（時計）	新型コロナウイルスも落ち着いてきているようなので、なんとか上がってくると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		スナック	連休の出入等を見ると、観光地は混雑してるし、家族向けの場所は賑わってるため、やや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	旅行や会食の予約が増え続けている。ワクチン接種も複数回接種が当たり前になり、以前より安心して外出できる雰囲気になっているため、やや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	企業・学校など団体からの問合せが、日帰りではあるが増えてきているため、やや良くなっていると判断する。ただし、宿泊を伴う研修、旅行等は様子見の状況。
		タクシー運転手	夏休みやお盆などで人が流れるので、少し良くなると期待している。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあり、多くの店舗や観光地の利用者が以前より多く見られるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	いば旅あんしん割の対象エリア拡大やGo To 再開を機に、さらに利用者は増加すると思われるため、やや良くなっていると判断する。一方で食材コストの増加や水道光熱費の増加が大きく、利用者が増えることで得られる効果が薄まっているように思える。
		ゴルフ場	いば旅あんしん割などを利用しての旅行者が増えていたことやインパウンドの再開など、また新型コロナウイルスの感染者数の減少に伴う安心感から、人の動きが活発になってくると思われるので、やや良くなっていると判断する。
		設計事務所	新型コロナウイルスの感染者が少なくなって来ると思うので、やや良くなっていると判断する。
		企業	企業
製造業（化学工業）	国内需要は行動制限がなくなって回復に向かうと思うので、やや良くなっていると判断する。		
製造業（精密機器）	コロナ禍でも人や物が動き出しているため、やや良くなっていると判断する。		
金融業	新型コロナウイルスの対応要件緩和等から、引き続き経済活動の活発化が予想されるため、やや良くなっていると判断する。		
雇用	求人開拓員	新型コロナウイルスも終息傾向にあり、経済も良い方向に変わっていくと思う。（ウクライナ問題がやや心配でもあるが）	
変わらない	家計	レストラン	客との平均的な話の上から、変わらないと判断する。
		タクシー運転手	物価高もあり、景気回復の兆しが見えない。市内大手企業などは仕事量も増え、給料等も増加しているようだが、タクシー業界は先行きが見えてこないため、変わらないと判断する。
		ドライブイン	ガソリン価格が落ち着いたものの、物価上昇やこの夏が暑い話が出てきていて、残暑厳しい中、ドライブに動いてくれるかどうか不安なため、変わらないと判断した。まだまだ頭が痛い。
		ゴルフ場	家計への負担がじわじわ出てくるであろうから、やや悪くなるか、変わらないと思う。
	企業	製造業（電気機械器具）	現在の状況が改善しないと思うので、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連において受注や引合いが増え、派遣社員の増員を行った。その状況が当面続く見込みのため、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	多少の生産アップは見込まれるものの、大きな変化はない。
		建設業	コロナ禍の影響で半導体などの供給不足がまだ続くと思うので、変わらないと判断する。
		非製造業（その他）	例年と雰囲気が変わらない。
	雇用	公共職業安定所	人手不足な企業が多いが、世界情勢が不透明なため変わらないと判断する。

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	時間が経てば慣れが生じる。戦争の状況次第によっては、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	今後も食料品や燃焼（ガソリン）の値上げ等が続き、ロシア・ウクライナ侵攻が長期化する可能性が高いため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（食料品）	今までとは違い、資材その他の値上げ幅が上がってしまっている。ある程度の値上げは、仕方ないと思っていたが、想定範囲を超えた値上げになっているため、やや悪くなっていると判断する。
		自動車販売店	4月以降の光熱費をはじめ食品等の値上げにより、購買意欲が低下するため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（酒類）	当店で現在取り扱っている商品のメーカーからの値上げ発表が多いため、やや悪くなっていると判断する。販売に悪い影響が出ないか心配だ。
		観光型ホテル	夏の電気料金の値上げを考えて消費は控えていくと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	いば旅あんしん割の影響で繁忙期の予約状況が芳しくなく、割引きが終われば反動で状況は悪くなると考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	燃料の値上げにより物価が上昇、年金支給の減少などで客の財布の紐が固くなる。長引いた新型コロナウイルスの影響で企業業績の悪化がピークに達しているため、やや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	ウクライナとロシアでの問題ですべての製造原価が高騰していて、売上原価上昇に対しての価格に転嫁できない。また、平常時の6月・7月の予約状況を見ても、3月・4月・5月の予約状況より勢いが鈍っているため、やや悪くなっていると判断した。
		写真店	色々なものが、特に日用品の値上げ傾向が強くなっているため、やや悪くなっていると判断する。
		美容室	今のインフレの状況が更に悪化し、新型コロナウイルスもまだ落ちついたわけではない。財布の紐は自然と固くなると思うので、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（金属製品）	原材料の高騰。上海のロックダウンの影響等。明るい要素がないため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（その他）	原材料の価格高止まりはもとより、更なる値上げの可能性があり、売価に転嫁できなければ景気観の低下は避けられないと見ている。その場合、取引先からの買控えなどが行われれば更なる低下も考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
建設業		このところの様々な物の値上がり、納期の遅れ等を見ると、先行きの不安要素が多く、消費活動は抑制されるだろうと思うので、やや悪くなっていると判断する。	
不動産業		来客数はやや増加しているが、客単価は減少傾向にある。総合的にはやや悪くなっていると予想する。	
雇用	求人広告	まだまだ慎重な姿勢は崩れないように思うので、やや悪くなっていると判断する。	
	学校就業関係者	来校者や取引業者の方々の話を聞くと、ガソリンなどの価格上昇から、景気がやや悪くなると思う。	
悪くなっている	家計	スーパー	物価上昇に伴う生活防衛が続くため非常に厳しい見込み。ただしお盆の動きはコロナ禍前に戻る見込みであり、ギフト需要は回復すると予想する。しかし、取引先各所から10月ごろに再度値上げを控えていると度々耳にするため、悪くなっていると判断する。
		小売業（食料品）	原材料や資材の値上げによる利益率の減少、参院選による人流の減少とその間のGo Toに起因する感染の拡大を予想している。ただし、7・8月のGo Toによる効果に期待したいところだが、市単位での動きによる効果が期待できないのも要因である。利益率に関しては、自社製品の値上げのタイミング次第でもあるので、状況を見極めてから判断せざるを得ないため、悪くなっている可能性が高い。
	企業	水産業関係者	全般的な値上げ傾向は今後も継続し、徐々に影響は強くなると感じるため、悪くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	資材高騰を吸収出来ないまま、さらなる資材・輸送費増となっているため、悪くなっていると判断する。

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良くなっている	家計	酒・各種商品小売業	コロナ禍での自粛がさらになくなって来ると思う。Go To トラベル等が始まり旅行者が増えてくると思うので、良くなっていると判断する。	
		タクシー会社	人流が活発化してきているので利用客の増加が見込まれるため、良くなっていると判断する。また、インバウンド外国人観光客の県内タクシー観光も予想しており、国外・県外よりの観光客を呼び込む事が大切であり、そのために準備を整え、県内観光PRを行っていく。タクシー利用の促進を図るために免許返納割引などの施策を行い社会貢献と利用促進を図っていく。	
	雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、多くの業種で求人が増加している（宿泊業、飲食業、建設業、製造業等）。最新の指標（令和4年5月分）で、新規求人数は前年同月比13.6%増のため、良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	小売業	秋物商戦の本格的なスタート月であり、季節商材を投入しモチベーション需要に繋げる重要な月である。月初より全館催事を立ち上げ現状の消費動向が裾野の広がりを見れば売上高はコロナ禍前水準への回復も期待出来る。新型コロナウイルスの新種株による感染拡大・円安/原油高を受けた物価上昇による激変も想定されるが、コト消費を起点としたマインドの好転は緩やかに継続することが期待されるため、景気はやや良くなっていると判断する。	
		スーパー	新型コロナウイルスの感染者数が減ってきているので、このまま行けば良くなっていくと思う。	
		コンビニエンスストア	コロナ禍が収束傾向にあり、景気が回復すると思うので、やや良くなっていると判断する。	
		コンビニエンスストア	今後、政府や地方自治体による観光振興がさらに促進されていくと考えられるため、やや良くなっていると判断する。	
		楽器販売	半導体不足や船便の都合で受注停止になっていた商品が、前倒しで受注再開始めた。呼応するように客からの問合せが来ており、ここにも動きが出てきているため、やや良くなっていると判断する。	
		日本料理店	新型コロナウイルスの状況によるが、インバウンドが戻ってくればより良くなると思う。	
		割烹料理店	希望的観測だが、もうそろそろこの雰囲気が終わって日常に戻ってほしい。	
		割烹料理店	このまま回復してくれることを願って、やや良くなっていると判断する。	
		都市型ホテル	変異株の状況にもよるが、冬までには感染状況が落ち着いていくと感じる。個人需要は戻ってきており、法人需要も徐々に戻ってくるのではないかと感じるため、やや良くなっていると判断する。	
		都市型ホテル	客との会話で、そろそろ以前のように会食を伴う集まりを検討しているとの声が増えてきているので、少しずつ良くなると思う。	
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、夏の予約が昨年より動いているため、やや良くなっていると判断する。	
		旅行代理店	インバウンド、Go To トラベルも再開し、旅行機運が高まると想定されるため、やや良くなっていると判断する。	
		旅行会社	新型コロナウイルスの影響での直前のキャンセルが少ないため、やや良くなっていると判断する。	
		バス運転手	新型コロナウイルスの感染状況とそれに対する施策次第であるが、ここ数か月で、マスク着用をはじめとする感染諸対策の定着と3回目のワクチン接種が一定程度進んだ。このことから、以前ほど人混みを避ける人が減っていることと、さまざまな行事・イベントが再開されてきているため、やや良くなっていると判断する。	
		タクシー会社	駅の乗降客数も回復してきていると思われ、徐々にではあるが右肩上がりの様子になっているため、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	やや良くなっていることを期待している。ロシア、ウクライナ紛争で物価が上昇中。買控えは困窮者が増える可能性もあり、先が見えない。	
		観光名所	8・9月の問合せや予約が増えてきているので、3か月後の景気はやや良くなっていると思う。	
		スーパー銭湯	夏休みやお盆休みがあるため、GW同様に長期連休が上振れに引き上げてくれると考えているため、やや良くなっていると判断する。	
		ボウリング場	3か月前の前年比より今の前年比が上がっているため、この先も回復傾向になると予想するため、やや良くなっていると判断する。	
		理・美容店	コロナ禍も少しずつ回復しつつあるので外出、旅行に出かけることも多くなるのが来店数に繋がると思うので期待したい。	
		設計事務所	新型コロナウイルスの制限が徐々に和らぐに連れ、ますます街に活気が戻ってくるように感じるため、やや良くなっていると判断する。	
		企業	運輸業	今後、顧客製品の出荷台数も増えてくる予定なので、徐々に良くなっていく予定。
			運輸業（道路貨物運送業）	上海ロックダウンの解消に伴い、滞留傾向にあった輸出入貨物の増加があると思われるため、やや良くなっていると判断する。
			情報通信業（情報サービス業）	各種値上げがあるが、コロナ禍が当面落ち着いていきそうなので、街は多少活性化していくと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		雇用	人材派遣業	今後も受注は増えていくと思われるため、やや良くなっていると判断する。

変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスが落ち着いてきており、自粛も緩やかに解放感があるように感じる。円安や物価高などマイナス面もあるが、それを打ち消しトントンといったところではないだろうか。
		スーパー	3月に比べ、家族での買物が増加しているが、現在と同じ状況が続き、3か月先は変わらないと判断する。
		小売業	直接的な影響はまだ少ないが、コスト高や様々な品目の値上げ、円安など、景気が回復するような要因が全く感じられないため、変わらないと判断する。
		自動車販売店	ウクライナ、円安、株価とも社会情勢はさほど変化しないと思われる客が大半のため、変化はないと思われる。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの影響は回復傾向だが、商品の値上げ品が多く、マイナスに働くとと思われるので、変わらないと判断する。
		タクシー運転手	まだまだ慎重に行動する人が多いため、現状より急に景気が良くなるとは考えにくい状況であるため、変わらないと判断する。
		レジャー施設	燃料費の高騰により、原材料費等が値上げされてきている。新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向ではあるが、相次ぐ値上げにより、支出経費が増えることが予想される。よって景気は停滞するのではないかとと思われるため、変わらないと判断した。
		写真店	物価上昇で先行きが見えないため、変わらないと判断する。
	企業	製造業(食料品)	新型コロナウイルス影響はあっても、昨年夏のように大きな影響はないと予想しているため、変わらないと判断する。
		製造業(印刷・同関連業)	まだまだ数字に表れていないので、変わらないと感じる。客がコロナ禍の状況に慣れてしまっているのではないかと感じる。
製造業(窯業・土石製品)		見積り件数が増えてきているが、成約には至らないと思われるため、変わらないと判断した。	
製造業(一般機械器具)		新型コロナウイルスは少しずつ落ち着いてきてはいるが、原油高・円安傾向は続いており先行きが不透明なため、変わらないと判断する。	
製造業(一般機械器具)		中規模の企業は、積極的な設備投資を控えているため、案件が滞っている。	
製造業(輸送用機械器具)		円安継続、原油価格の高値継続、更にはウクライナ情勢悪化に伴う更なる材料高騰並びに部材供給逼迫懸念が払拭されておらず、依然として国内外の景気は好転の兆しが見えてこないため、変わらないと判断する。	
製造業(精密機器)		新型コロナウイルスやウクライナなど不透明なことが多い。	
製造業(精密機械器具)		半導体部品不足に関する情報によれば、今回の不足は世界的な構造的問題があり、急な好転は無理なようだ。今後の対策として、代替部品への設計変更などを検討中である。	
建設業		資材、燃料、食料あらゆる価格が上昇傾向にあり、収入と支出のバランスが崩れている傾向はもうしばらく続く予感がするため、変わらないと判断する。	
金融業		人の流れや動きはやや活発になりつつあると感じるが、今後の更なる物価上昇も懸念されている中では、購買意欲の低下や買控え等も発生する事も予想され、景気回復には至らないと思う。	
雇用	求人開拓員	当所を利用する利用者の人数、取扱をした求人数・人数共に明確な変化はないものと推察する。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	今後も物価が高くなり、客の財布の紐も固くなっていくため、やや悪くなっていると判断する。旅行など今まで我慢していた事に金を使用するのではないと思う。
		スーパー	原価高騰による商品の値上げが相次いでおり、消費者の節約が懸念されるため、やや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの収束に向かい観光業が活性化してくると、レジャー産業は反比例し、やや悪化の傾向になると考える。
		住宅販売会社	どんどん資材高騰が続くため、やや悪くなると判断する。
		農業関係者	世界情勢が悪くなっている状態で、肥料原料の高騰や農家への負担が多くなり、経営的にも厳しくなっていく。資材購入も減少すると思うので、やや悪くなっていると判断する。
	企業	建設業	先が見えないため、やや悪くなっていると判断する。
		不動産業	材料費高により、価格を商品転嫁せざるを得ない一方で、消費者の購入予算は上がっていないため、やや悪くなっていると判断する。
		サービス業(コンサルト業)	物価高により、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	先行きに特に良い材料がないため、やや悪くなっていると判断する。
	学校就業関係者	諸物価の高騰が収まるとは考えられない。むしろ続くのではないかと感じているため、やや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	レジャー施設	さらなる燃料費の高騰になってしまうと販売数量の売上げも減になってしまう懸念があることや、客からも今後物価が上がってしまうと仕事面での影響があり、不安が拭えないとの話から、3か月先も景気が良くなるとは思えないため、悪くなっていると判断する。

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	雇用	民間職業紹介業	増産や新規ラインの立ち上げ等の話を聞いているため、良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きがみられるなかで、外出機会の増大にともなう対面型サービスの需要拡大のほか、インバウンド消費需要も期待される。また、半導体需要の増加や挽回生産、値上げへの意識の変化などはプラス材料となる。今後は、下振れリスクを多く抱えながらも、緩やかな上向き傾向で推移すると見込まれる。	
		小売業（薬品店）	客数が改善傾向にあり、景気が良くなっていくのが期待できる。	
		小売業（書店）	今は農家が忙しいが、夏になれば人も回復すると思うので、やや良くなっていると判断する。	
		和食レストラン	新型コロナウイルスが比較的落ち着いた状況が続く前提ではあるが、結婚式や宴会、各種集会等も再開しており、回復基調は継続すると思われるが、一方で、円安や資源価格高騰に伴う値上げ、ウクライナ問題などが今後どのように影響を及ぼすのかという不安材料もある。	
		洋食食堂	新型コロナウイルスの終息が近づいてきていると思う。人の動きに変化が出てきているため、やや良くなっていると判断する。	
		日本料理店	先にも述べたが、物価の上昇が止まらないという報道があり、需要は回復傾向にあると思うが景気回復は微量だと思われる。	
		運転代行	人の動きも多少、増えるのではないかなと思う。景気も徐々に良くなっていると思いい、やや良くなっていると判断する。	
		旅行代理店	コロナ禍がだいぶ落ち着いてきて、団体旅行が増えてきたため、やや良くなっていると判断する。Go To トラベル事業再開を望む。	
		道の駅	個人客・団体客が増えてくると考えられるため、やや良くなっていると判断する。	
		レジャー施設	新型コロナウイルスがさらに減少し、海水浴シーズン、夏休み等も重なり、現在よりも良くなると考えられる。国、県のGo To キャンペーン等も良くなる要因と思われる。	
	クリーニング店	閑散期になっているが、今年は昨年よりややいいように感じるため、やや良くなっていると判断する。		
	企業	製造業（食料品）	ロシアによるウクライナ侵攻長期化に伴う諸物価上昇に基因する消費低迷状態を、新型コロナウイルスの感染者数減少からくる経済活動の活発化と海外からの観光客増加によるインバウンド消費の増大が円安効果と相まって寄与することで、長期的には景気浮揚に繋がるのではないかな。	
		製造業（電気機械器具）	半導体をはじめとした仕入れの不安と、主たる取引先の受注減がまだ続くであろうとの予測から厳しい状況は続くが、新規受注のほか、季節性製品の開始などで、やや持ち直す見込みである。	
		運輸業（道路貨物運送業）	個人向けの荷物が増えているので、少し上向きになって行くと思う。	
		不動産業	時期的に現状よりも集客が見込めるため、やや良くなっていると判断する。	
	雇用	人材派遣業	引き続き、人材不足感はある、有効求人率は堅調だとも思うため、やや良くなっていると判断する。	
		公共職業安定所	新規求人数が少しずつ増加し、雇用調整の動きが規模、件数ともに減少傾向にある傾向が続くと思われるが、原材料費の高騰の影響が景気回復にブレーキをかけている状況が見られるため、回復の速度は遅いと思われる。	
	変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの感染拡大もだいぶ落ち着きつつあるが、2年半における外出制限や、対人との非接触スタイルが定着してしまった感により、コロナ禍前までの日常生活に戻るまでにはかなりの時間を要すると思うので、未だ景気回復とはならないと考える。
			家電販売店	仮に季節要因が好転しても、値上げ、品薄による売り逃しが発生する可能性が高い。
農産物直売所			世の中の状況を見ても、客の買い方などを見ても、政治的な状況（経済状況を含む）を見ても、良くなる気配がない。	
農産物直売所			特産物であるメロンが秋まで続くので、変わらないと思われる。	
小売業（菓子類）			人の動きは活発化するが物価上昇が予想され、売上げは今月の対前年比と変わらないと思う。	
小売業（薬品店）			今回の新型コロナウイルスでマスク着用が生活の一部になりつつあり、ウイルス感染症等の病気は新型コロナウイルス前と比べると90%以上減ってきており、今後もこの状況は続くと思われる。	
割烹料理店			徐々に制限は解除されてはいるが、飲食店で宴会ができるようにならないと変わらない。	
ゴルフ場		コロナ禍の影響は薄れているものの、個人消費が相変わらず低いと感じる。		
企業		製造業（一般機械器具）	現在の情勢に変化が見込まれない。	
		製造業（食料品）	ロシアのウクライナ侵略の戦争が終われば、少しは落ち着くと思うが急には回復しない。一方、円安を政府がどれだけ抑えられるか。	
	製造業（ゴム製品）	原材料の値段があがっている。客先からのオーダーも低迷している。		
	建設業	ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響に、回復の兆しが見れない。		
	建設業	特段景気を上げ下げするような要因が見込まれないため、変わらないと判断する。		
	運輸業（道路貨物運送業）	現状での状態でしばらくは続くと思われる。		
	不動産業	旅行などのホテル利用の場合、割引支援があるようなので少しは人の移動があると思う。また、海外に行く人は円安のため余分に金がかかり大変なようだ。		
サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスが落ち着いてきたことにより飲食店等の営業が再開され、消費が回復に向かいつつあると思われる。しかし、食料品や燃料費等の値上がりにより原価や経費が増加している状況が続くと思うので、変わらないと判断する。			
雇用	求人開拓員	今の状況はすぐには回復しないと思う。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	ウクライナ情勢による価格の高騰が懸念されるため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	工業地帯の定期修理が終わると業者の出入りが減ってしまうため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	現在は近辺企業の定期修理などで人流が活発だが、3か月後は終了しているため、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	旅行、観光業界はお金に余裕がある人が利用して経済をまわすだろう。しかし一般市民は日々の生活でいっぱい。田舎に行けば行くほどガソリン、灯油は必需品。これから夏に向けクーラーなどの電気代の出費もかさむ。とにかく光熱費の負担が重く感じるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（食品）	6月からの物価上昇で景気が懸念されるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業	いろいろな物やエネルギーなどが値上がりして、悪影響が出ると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	いば旅あんしん割やGo To トラベルキャンペーン等が延長した場合を考えると、良くなっているのかもしれないが、やはり昨年度の傾向を考えると、新型コロナウイルスが再度流行し、外出自粛の雰囲気となると、やや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	先日、同業者と会う機会があったのだが、毎日が厳しいとのこと。コロナ禍で仕事が大きく減少している様子。他人事ではない。仕事をしたくても仕事がないのが現状だ。給料も大幅に減少しているなか、料金を上げればまた利用客が減る。若ければ仕事を変えたいが、現状では無理である。
		ゴルフ場	物価高の影響が続き、レジャーへの支出を抑える傾向になるのではないかと思います。そのため、やや悪くなっていると判断する。
		住宅販売会社	新築の間合せはほぼない状況のため、やや悪くなっていると判断する。
	住宅販売会社	今までなら入居したような賃貸物件に入居が決まらず、空室期間が長くなっている。安い物件への住み替えが見られるため、やや悪くなっていると判断する。	
	企業	製造業（その他）	新型コロナウイルスが収束に向かい、受注はさらに回復すると思う。しかし、景気という意味では部材価格の高騰を顧客にすべて転嫁できているわけではないので、トータルで考えてやや悪くなると思う。景気という言葉の意味が売上げ額だけで言うのであれば、やや良くなると思う。
		製造業（鉄鋼業）	世界情勢の悪化の影響を受け、景気後退の恐れが出てきたため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	ウクライナショックとも言われる戦争が、じりじりと経済を下降させるので、やや悪くなっていると判断する。
		金融業	7月にはコンビナート定期修理工事は完了すること、コロナ予算により公共工事の減少も予想される。また国内だけでなく、世界的な新型コロナウイルスの流行、原油高という外的要因が改善されない限り、地域経済活動の改善は見込めないと料する。
		保険業	職人が多い町なので住宅建設が少なくなり、また大手ハウスメーカーに建設が流れているため、やや悪くなっていると判断する。
		サービス業	一部の客では、円安によって利益が増えているケースもあるが、全体観としては受注が減少して苦勞している様子が伺えるため、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	学校就業関係者	ガソリン等の値段が上がることはあっても、今後下がっていくとは思えないため、やや悪くなっていると判断する。
	悪	企業	農業関係者

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	学校行事などもコロナ禍前くらいに戻ってきたり、各地の催事イベントなどもほぼ制限なく開催していると考えられるため、良くなっていると判断する。
		和食食堂	新型コロナウイルスの患者数も減少傾向にあり、大人数の来店もよく見られるようになった。新しい建物が建ったり、学校行事の再開などから見て、今後は良くなると判断する。
		スナック	団体の客が増えてきているので、新型コロナウイルスの感染者数が増えない限りは、大人数の宴会など増えていくと予想するため、良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	3か月のオンハンド状況では、宴会では銘々盛りの盛込みスタイルから立食スタイルも加わってきて、徐々に問合せ件数もコロナ禍以前に戻りつつある。宿泊もいば旅あんしん割から外国人の受け入れなどをスタートとなると、今後は益々期待することとしたい。今年度ビアガーデンは開催は中止としたが、問合せはあることも考えるに、景気は良くなっているように思われる。
		タクシー会社	海外や国内旅行に行く方も増えており、新型コロナウイルスのニュースも少なくなりどんどん出かけているため、良くなっていると判断する。
		ボウリング場	3回目のワクチン接種を終えた方の割合が増え、新型コロナウイルスの感染者数が減ってきているためか、団体客やファミリー層が増加している。これからどんどん景気が回復してくると感じる。
		理・美容店	学生も普通の学生生活に戻ったし、働き世代がどの職種も順調に仕事がある様子のため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスの感染状況に加え、電力不足や物価上昇による影響はあると予測されるが、来館見合わせや消費自粛にはつながらないと思われる。前年の夏は感染再拡大のため、飲食店の時間短縮等があり来館が落ち込んでいたが、今年は3年ぶり通常の夏の消費動向が見込まれ、家族や友人など身近な単位で必要な買物やサービス利用は上向くと感じる。
		小売業（米穀）	何もかもが値上げで、かなり厳しいと思うが願望を込めて、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	毎年夏は客数が増加するので、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	宿泊団体（特に学生）の問合せが増えており、今月よりは良くなる見通しとなる。料金についても食事付きのため単価を設定できるので、売上げは増加する見込みとなるため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	コロナ禍で控えていた外出も普通に出来るようになり、人々の活動が活発になっているため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	現状、売上げが伸びており、さらに伸びが続きそうなので、やや良くなっていると判断する。
		サービスエリア	この状況が変わらなければ、今後も一定の利用回復は見込めると考えられる。物価高による景気の停滞は懸念材料。
		ゴルフ場	新型コロナ禍前に開催いただいていた、主に秋季開催の大型コンペなどの復活開催の申込が多くなってきた。銀行・保険などの業界でも感染防止自主規制が撤廃あるいは緩和の方向に進んでいる気がする。ゴルフ業界にはやや追い風かと思う。
		レジャー施設	9月についても、新型コロナウイルスが収束に向かって進んでいると見られることや、そうした状況でも当施設をレジャーとして選択する消費者が一定数いることを鑑みると、3か月後はやや景気が良くなっていると考えられる。
企業	製造業	製造業（食料品）	人の動きが活発化しているので商品が動くと思えるが、原材料費・燃料費の上昇幅がどの程度まで行くのかが不安材料。弊社の場合、現在よりは安い原料費で仕込んだ商品が今の商品になっているので、商品価格と原材料費の上昇を勘案すると、景気はやや良くなっていると思う。
		製造業（その他）	取引先が忙しく、予定を後に回しているため、やや良くなっていると判断する。
		建設業	3か月先の9月は役所の発注工事がかかり出てくる時期である。また、今年は土浦花火大会が3年ぶりに開催される予定である。その関連工事も3か月先の工事受注に加わってくるので、かなり受注金額が増えてくると思う。花火大会が中止になっても前年度並みの受注量は出てくるので、景気はやや良くなっていると思う。
変わらない	家計	家電販売店	現状より市場動向がさらに悪化してもおかしくない。また、新型コロナウイルスの動向も気になる。明るい情報に乏しく現状維持していくのがやっとなと考える。
		スーパー	新型コロナウイルスの宣言の解除等の期待はできるが、ウクライナ問題などまだまだ不安要素がたくさんあるのでより一層、品不足や値上げが続くと思われる。
		スーパー	現在が3か月前よりやや良くなっているという判断のため、新型コロナウイルスの感染状況が現状維持という前提で横ばいと判断する。
		小売業（生花店）	判断が難しいと思う。新型コロナウイルスの助成金の影響が現在は表面化しているのではないかと思う。
		和食食堂	観光客が少ないため、変わらないと判断する。
		都市型ホテル	現状の稼働や売上げが良いので今より良くなるとは思えない。ただ今後は物価高により現状の売上額の伸び率ほど収益は見込めないと思う。現状を維持するのが精いっぱいといった感じである。
		タクシー運転手	このまま横ばいの状況が続くのではないかとと思われる。理由として日中は平常通りに戻っているが、夜の動きはこの状況が平常になりつつあるため夜の増収は見込めない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染者数は減少しているが、不安が解消されていないため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	3か月程度で今の状況から変化が確認できるとは思えない。良い方向へ向かうことと、悪い方向へ向かったことが同時に起きている。
		テーマパーク職員	今まで自粛傾向にあった人は、夏休みや連休は今まで行けなかった遠出をしたい、なかなか行けないような観光地やスポットに行きたいという傾向が顕著に見られる。逆にコロナ禍からの解放ムードで、現在と比較すると大きく向上する感じではない。

変わらない	企業	農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらない。
		製造業（窯業・土石製品）	物価上昇が続いており、3か月後は現在より大幅に値上げを行う企業があるため、変わらないと判断する。
		製造業（印刷・同関連業）	良い材料が見当たらない。政府の景気対策もそれほど期待が持てない。国全体としての経済成長ができないのだから、その中で事業を営む多くの経営者の苦境は推して知るべしと言える。
		製造業（非鉄金属）	半導体不足のため、変わらないと判断する。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。
		建設業	材料高騰がいつまで続くか分からないため、変わらないと判断する。
		不動産業	まだまだ突発的に良くなるイメージがないため、変わらないと判断する。
		運輸業（倉庫業）	今後の見込みを考えても、それほどの変化をもたらす要素が見当たらない。
	雇用	民間職業紹介業	企業の好転材料を他国の情勢悪化で相殺されてしまうため、変わらないと判断する。
		公共職業安定所	新型コロナウイルスやウクライナ情勢が雇用に与える影響など先行きが見通せないため、変わらないと判断する。
学校就業関係者		製造業の企業と付き合いがあるが、変わらず仕事数は多いと見込まれる。	
家計	スーパー	今後、商品の値上げがまだまだ予定されており、見通しがつかない。不安要因が増加している。買物は今後、シビアになっていくと思われるため、やや悪くなっていると判断する。	
	スーパー	物価上昇が止まらないため、やや悪くなっていると判断する。	
	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスは一定の許容がされてきたが、ロシアのウクライナ侵攻による資源エネルギー問題、円安に伴う物価上昇により消費が鈍化する懸念があるため、やや悪くなっていると判断する。	
	農産物直売所	もともと当店は単品の売価と客単価が低い店である。客数が増加しているのは良い傾向であるが、売上高が伸びていない。客単価が伸びていない傾向は3か月先も続くと思われるため、やや悪くなっていると判断する。	
	衣料品販売店	コロナ禍の回復で経済の上昇。ウクライナの終戦で日本の出金が増えるか。アメリカの株が安定して日本も安定するか。3か月や半年では無理だろう。	
	理・美容店	値上げしているため、やや悪くなっていると判断する。	
やや悪くなっている	企業	農業関係者	今後の見通しとして、農業用生産資材、物価等の高騰も考えられるため、景気はやや悪くなると思われる。
		製造業（飲料）	9月はだいたい気温も落ち着いた時期になるが、新型コロナウイルスの状況がまだまだ終わりが見えない所や、原材料の価格高騰などが見込まれると思われているので、景気はやや悪くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	資源高、それに起因した物価高でも賃金は上がらないため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	原材料のみならず、食料品をはじめあらゆるものの価格が上昇しているが、可処分所得は変わらない。
		建設業	品不足が続いているのでまだ景気上昇とはいかないのではないかと。客も品不足を認識しているようで、注文も控えているのではないかと。物によっては仕入単価が上昇中である。
		金融業	新規新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向が見られ、経済活動の活性化が期待出来る局面だが、ウクライナ紛争の長期化懸念から物価高傾向に歯止めがかからない状態であり、個人家計費、企業収益は圧迫された状態が続くと予想され、3か月先の景気はやや悪くなると思われる。
		不動産業	物価の上昇が加速しているが賃金上昇は見られないため、やや悪くなっていると判断する。
		雇用	求人開拓員
悪	家計	設計事務所	資材不足・値上がり。住宅ローンの金利が上がり、新築住宅に不利な条件が多くなっているため、悪くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	色々な物の値上げが既にされていたり、予定があるようなので全体的に消費が縮小するのではないかとと思うので、悪くなっていると判断する。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルス対策の緩和から日本各地のイベントや催事が行われる方向で進んでおり、併せて海外旅行客の受け入れなどの条件を考えると、値上げが続いた状態を差し引いても景気は上向くのではないかと考える。
		レストラン	新型コロナウイルスの感染者もだいぶ減ってきているので、通常に戻りつつある。しかし、団体客は当分戻らないと思うので、売上げは以前のように上がらないと思う。
		日本料理店	コロナ禍が収束すれば現在より良くなっていると思う。
		和食レストラン	少しずつ、集って食事をするが増えてきているので、あとは官庁関係（銀行を含む）の宴会が入るようになると一般の事業所がもっと来てくれると思う。マスクをつけずに外を歩くようになったらさらに景気は良くなると思う。
		旅行代理店	全国ブロック県民割が導入されれば旅行意欲が出ると思われるので、やや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	コロナ禍の状況によるが、今のように少ない人数ならば旅行に参加しても良いと考える方が増えそうに思う。対策を十分に行い、たくさんの方々の旅に出たいと思うようにPR活動を各団体や報道関係者をお願いしたい。
		タクシー会社	新型コロナウイルスが落ち着いてきて、少しずつ良くなっていくと思う。
		道の駅	今後、新型コロナウイルスももう少し収束し、3か月後は秋の行楽シーズンになるので旅行、外出が増えて客が増加するのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	コロナ禍の状況に左右されるが、日常が取り戻せれば必然的に良化すると思う。マスクの着用も緩和されればなお良くなると思う。
		レジャー施設	屋外施設でもあることから、新型コロナウイルスの状況悪化がない前提で、今後さらなる来園者の増加や有料施設予約・利用件数が増加すると思われることから、やや良くなっていると判断する。
企業	企業	製造業（電気機械器具）	材料等の値上がりよりリードタイムの不透明感はまだまだしばらく続くと思われるが、新型コロナウイルスの影響が徐々に少なくなってきたので、諸々の活動が活発になり、やや良くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	期待を込めてやや良くなっていると判断する。現在の状況の教訓を生かして、売上げ増、利益収益増のために何を行うかを考え実行して良くなっていると答えられるようがんばる。ちなみに当社の決算は4月だが前期より3割増の売上げだった。
		製造業（金属製品）	得意先の一社が新規事業に参入し、夏場から量産を開始する計画のため、やや良くなっていると判断する。
		サービス業（コンサルタント業）	今後、人の外出機会が増えてくるような気がする（法事・宴会等）。少しは景気回復に影響するのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。
雇用	雇用	求人広告	5月の景気の流れを気にして様子を見ていた客も多かったため、この良い雰囲気が続けばおのずと右肩上がりになってくるのではないだろうか。
		人材派遣業	全体的な物量増に加え外国人旅行者増も見込まれ、景気回復の兆しありと感ずるため、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	衣料品販売店	最悪の状態なので悪くなることもないし、良くなるとも思えない。
		自動車販売店	半導体不足や原油高などの影響が改善されるとは思えない。
		農産物直売所	来店客が増えてはきたが、依然として青果物価格が低迷しているため、変わらないと判断する。
		小売業（酒類）	あらゆる物の値上げが止まらない中であっては、良くなるということは考えられない。
		食堂	人の動きが活発になってはいるが、この2年間の活動自粛により外出を控える事に慣れてしまい、今より景気が良くなるような傾向が見えてこない。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスはだいぶ落ち着いてきたように見受けられるが、現実には役所、学校、大企業、金融機関等、まだまだ制限があるようだ。
		タクシー運転手	目立った動きは大きく変化していないように思う。
		観光型ホテル	まだまだ不安な要因がなくなった訳ではなく、新型コロナウイルスへの不安は周りの様子から、以前より少なからず良くなってきたのだからと感ずる。しかし、実感的には、個人活動はしていても団体活動はしているとは言えないので売上げはさらに減少している。
		道の駅	今後は、円安・値上げの傾向がみられるため、これ以上の景気回復には繋がりにくいと思う。
		レジャー施設	為替レートの不安定要因、食品をはじめとする生活必需品の値上がりなど、財布の紐をきつくするにつながらると感ずるため、変わらないと判断する。
		商店街代表者	原材料・原油高騰、海外でのロックダウンの影響による輸入品の遅延や取引中止の影響と、地域においてはイベント等の中止などにより、今後3か月程度で「物」「人」の流入による回復は期待できない。このような状況から、管内事業者の収益増加や受注増加は期待できなさと感ずっている。
		クリーニング店	季節変動がある業種のため3か月先は今より落ち着く。ただ対前年同月比で見れば良くも悪くもなる。そのため、変わらないと判断した。
		企業	企業
製造業（電気機械器具）	長期の予測は難しいが、この状況は当面続くと思われる。		
建設業	特に変化を感じない。		
金融業	新型コロナウイルスの影響はなくなって飲食業は改善しているものの、仕入物価が毎月上昇しており、価格転嫁は難しく今後3か月においても変わることはないと思慮する。		
雇用	雇用	人材派遣業	人材の依頼が少ない。
		学校就業関係者	特段良くなる要素も、悪くなる要素も見当たらない。

やや悪くなっている	家計	スーパー	物価上昇のため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	近くのスーパーマーケットが改装工事後、再オープンするため、やや悪くなっていると判断する。
		メガネ・時計販売店	物価、エネルギー価格等の値上がりで、やや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	先の来客予約状況が平年と比べても少ないため、やや悪くなっていると判断する。
		理・美容店	物価上昇の影響が関わって来ると思う。食品、ガソリンなど生活に直結するので来店頻度が長くなると思うため、やや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	まだ物価上昇が続くと考えるため、やや悪くなっていると判断する。
	企業	農業関係者	合わせて、5月27日及び6月3日の降雹被害により青果物の出荷に影響が生じることが考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	あらゆる値上げで利幅が薄くなっているため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	仕入れ材料が高止まりもせず高騰し続けているので、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	円安による仕入れ額増加を客先に対応してもらうのに、一定の期間が必要なため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	材料価格の高騰の影響もあり、受注が伸びないため、やや悪くなっていると判断する。
		建設業	資材の高騰は2月頃から続いているが、まだまだ来月あたりから軒並み上がるため、やや悪くなっていると判断する。
		不動産業	建築費をはじめとする物価高で消費者心理が冷え込んでいるため、やや悪くなっていると判断する。
雇用	求人開拓員	食品、飲料、ガソリン等ほとんどすべての値段が、半年前に比べて倍近くになっている。給料が上がらないのに物価が上がると非常に厳しい状況に追い込まれる恐れがある。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	夏休み等もあり、販売数が見込めない。値上げも原因の一つ。
		スーパー	商品の値上げが続いており、しばらく買物はシビアになっていきそうなため、悪くなっていると判断する。
		製茶販売	良くなる見込みが何もない。
	企業	畜産業関係者	今後良くなる要因はほぼないため回復は考えにくい。7月-9月のクォーターでも飼料価格の値上げが予定されているため、悪くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	さらにその他の費用が値上げになってくる。出費は増える一方、所得はそのままでは景気が良くなるわけがない。
		製造業（印刷・同関連業）	原材料の値上がりが引き続き行われる様子で、収益を圧迫し続けるため、悪くなっていると判断する。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	値上げを感じる。商品が少なくなっている。
	スーパー	スーパーなどのテナントの撤退や辞めた店などが、ポツポツと身近でも見受けられるようになった。
	スーパー	経済動向としては、新型コロナウイルスの感染者数減少に伴い人の移動が活発になった。キャンプ場なども予約で埋まる等、コロナ禍前の動きに戻りつつあると耳にする。しかし一方で、戦争、円安等に伴う物価上昇から経済不安や生活防衛の動きが目立つようになっている。食費は安く済ませたいが、新型コロナウイルスの収束もありプチ贅沢はしたいというニーズもあると思われる。
	小売業（食料品）	飲食店の廃業の話が聞こえてくるようになった。コロナ融資の返済が近づくにつれ、6分の1は返済不能とか様々な噂が飛び交うようになるにつれ、動きが鈍化しているように見える。安いものに群がる感じが顕著になってきている。
	小売業（弁当・惣菜店）	最近、取引業者から値上げの相談が相次いでいる。人件費の値上げをせざる負えない時期でもあり、今後価格の改定などがもつぱらの課題になるだろう。
	衣料品販売店	客の様子が少し明るくなり、お喋りになったように感じられる。あと少しかなと思うと嬉しくなる。
	小売業（時計）	売上げの上下の幅がたいへん大きい。
	レストラン	良くなることを祈りたい。
	レストラン	弊社の地域は帰省地であるため、直近2年間と比べると、GWもそうだが、かなり帰省されるようになったと思う。それだけ人が動き出していると感じた。
	スナック	居酒屋には行っても、そのあとの店にはなかなか足が向かない方が多い。
	観光型ホテル	将来が不安であるという気持ちがみんなあると思う。
	観光型ホテル	少し前までは外出自体をできるだけ控える雰囲気であったが、最近は海外への旅行や、インバウンドについての話題が出始めている。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染拡大前と比較して、電車、バスを利用する通勤者が減少したままで回復の兆しが見られず、交通事業者の景気回復は見られない。
	ドライブイン	連休過ぎあたりから、土日にあまり客の動きを感じない。連休中は他県のナンバーをよく見かけたが、平日は地元ナンバーがほとんどだ。
	レジャー施設	飲食店やスーパーなどは、コロナ禍前の利用客に戻っているように見受けられる。一方、物価高や円高が今後の景気にどのように影響するか懸念材料と感じる。
	ゴルフ場	毎日、仕入先より納入価格の値上げのお知らせが届く。
	ゴルフ場	インフレ景気の中、インバウンドの動きに注視し始めたように感じる。諸外国から見れば割安で旅行ができる好機でもあるので、受入れ側としても進んで商談会などの会合に参加したい。
	ゴルフ場	ゴルフのみでの予約から、宿泊を伴うゴルフ予約がやや増えてきた。
	写真店	電気代やガソリン代等のエネルギー関係の高騰が、企業や家計を圧迫している印象。
	美容室	ひしひしと物価高の影響を感じるようになってきた。コンビニで買物しても、あれこんなにしたかな？と感じるようになってきた。
設計事務所	コロナ禍により将来への不安が大きくなってきた。	
企業	林業関係者	大きな変化は感じられない。インフレ、コスト高、低コスト化より、現状維持といったところ。今後の輸入材の動向に注力していきたい。
	製造業（化学工業）	外国人の顧客が会社に訪問するようになった。今後のインバウンドの回復にも期待ができる。
	製造業（電気機械器具）	ガソリンや食品の価格が高止まりしており、家計に厳しい状況である。
	製造業（電気機械器具）	幸いにもコロナ禍の影響を大きく受けていないので、有難く感じている。とは言え、物価の値上がりによる大打撃を受ける見込みである。
	製造業（電気機械器具）	上海ロックダウン、コロナ禍、環境問題などの影響より、海外で生産していたものを、国内でも生産できる代替策を検討している。
	製造業（精密機器）	材料費の高騰状況はいつまで続くのか気にかかる。生産増に合わせて人員を採用したいが、応募が少なく難しい。
	製造業（その他）	新型コロナウイルスが原因か分からないが、新しい店舗・飲食店が開店することがない中で、閉店する店ばかりなのが寂しい限りである。
	建設業	物価が上昇したので賃金も上昇すればいいのだが。
	金融業	設備投資について計画はあるものの、半導体不足による価格高騰及び納期遅延に悩む企業が一定数見られている。
	不動産業	客単価は減少傾向にある。
非製造業（その他）	自社の定期昇給はアップした。ただ、物価高については外的要因が非常に強いと感じるため給与アップ自体も吸収されてしまうと思う。	
雇用	求人広告	決して良くない現状から、値上げなどで先行きに不安を感じている人が多い。
	学校就業関係者	食料品・原油等の価格上昇や、ウクライナ情勢・円安など景気に不安を感じる。
	求人开拓員	在住地区では、大型ショッピングセンターが開業以来16年目程度になる。その間アパートの建設ラッシュ、杉林を伐採しての宅地造成、戸建て住宅の建設増加。またJRの駅の新築（建設中）等、16年の間に様変わりした。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	週末の人出が増えていると思う。郊外のショッピングセンターや身近な遊興施設も以前に比べて人が多いと感じる。
	商店街代表者	後継者不在の問題で4社ほど廃業する会社が見られた。今後も増えるのではないかと。コロナ禍の行動制限がなくなったことで、コト消費の動きは高まりを見せており、特にシニア・シルバー層の消費行動と3世代ファミリーでの来店が回復・増加している。一方で消費意欲の高い20歳代は、コロナ禍前同様の「コトを絡めたモノ消費」行動が戻りつつあり、都内中心に行動範囲が拡大している。
	小売業	以前に見られた買物する紙を見ながら買物しているお一人様は見られなくなった。代わって家族での来店やグループでの来店が増加している。今後も続くと思う。各社のチラシを持っている客は変化なくいる。
	スーパー	節電・節水などコスト削減を実施しているが、水道光熱費の値上げが続いており経営を圧迫している。
	コンビニエンスストア	茨城空港は7月から2か月間、国内4路線全て通常運行になる。
	酒・各種商品小売業	小学生のいる親らが新型コロナウイルスに感染しているのが目立つが、症状は多少の熱が出て収まっているようだ。
	農産物直売所	毎朝、商品搬入の農家が生産資材の値上がりで手取りが減る話をしている。メロンのギフトの動きは回復したが、単価の安い2個入れ箱にシフトしている。
	日本料理店	県外からの来客は増えているように感じる。
	割烹料理店	観光地の人の流れが増えたのはいい傾向だと思う。早く新型コロナウイルスの薬が完成し規制緩和が行われて、日常を取り戻せるよう政府には期待したい。
	都市型ホテル	企業の懇親会や飲み会などが、ちょっとずつ開催されるようになってきている。
	観光型ホテル	値上がりする商品が多くなり、消費に対して使う時期や使わない時期がはっきりしてきていると思う。
	旅行代理店	旅行の問合せが増えた。
	旅行会社	会社は景気が良くなってきていると思うが、従業員にも給料で反映してほしい。
	タクシー運転手	タクシー業務の中では、本当は水戸市外に帰る人でも宴席が1次会で終わるため、時間が早く電車で十分に帰れるため、圧倒的に水戸駅までの乗客が多い。
	タクシー会社	高齢者の外出タクシー利用が増加傾向にある。病院等の送迎は以前とあまり変化がなかったが、買物送迎や飲食店への送迎、娯楽施設等への送迎が増加している。また、県外の観光地への送迎予約も徐々に増えてきている。
	道の駅	自然豊かな土地なので、自転車、ハイキング、キャンプ、カヌーなどスポーツ、アウトドアの方は増えている。
	レジャー施設	6月より多数の品目が一斉に値上げされ、更なる値上げ予想も相次いでいることから、値上げが長期化になればこれから先、日々の生活に様々な影響が出てくると思われる。
	スーパー銭湯	物不足、人手不足を強く感じている。ニュースに出てくるような物でなくとも物不足の影響で生産に支障が出て遅れるなどの話が頻発している。プレーカーの入荷に9か月かかったり、ポンプの入荷に7か月かかったりしている。営業に欠かせない物の交換の際にこのような事が生じると、物の入荷待ちで営業が出来ない事が起きないか不安である。
	ゴルフ場	水道光熱費の高騰が著しく家計を圧迫している。
	ボウリング場	客足は少しずつ戻りつつあるが、新型コロナウイルスが終息しない限り、コロナ禍前の活気は戻ってこないと思う。
	写真店	飲食店や観光等は活気が戻ってきているが、当店はぜんぜん良くならない。
	住宅販売会社	現在特に変化はなく、落ち着いているというより動きが鈍い。
	企業	製造業(食料品)
製造業(印刷・同関連業)		仕事としての動きはまだまだ変わらないが、人の動きは増えてきているように感じるので、今後を期待したい。
製造業(窯業・土石製品)		全ての物価が上がってきており、買控えしているのではないかと。
製造業(一般機械器具)		食品価格の値上がりが著しいと感じている(特にコンビニのホットスナック商品やカップ麺等)。
製造業(一般機械器具)		踏ん張って仕事をしているが、円安、戦争、源材料やエネルギー食品等の値上げ。良いニュースが聞こえてこない。
製造業(精密機器)		材料費が毎月のように上がっている。対応できないところもあるのではないだろうか。
建設業		見通しが不安だ。
建設業		茨城空港の利用客が回復しているため、観光面では景気の回復を感じられる。
運輸業(道路貨物運送業)		燃料価格の上昇に伴い、路線業者の燃料サーチャージ導入が加速している。荷主への値上げ交渉を開始しているが予算の関係上、下期または来年度まで持ち越しとなる感触である。
金融業		駅周辺を中心にマンション建設が増加している。
不動産業		材料費高による価格高の中、不動産関係購入はより慎重になっているように思われる。
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたためか、求職者の動きが活発化し始めている。新規求職者数の対前年同月比について、令和4年3月は4.0%減、4月は7.0%減だったが、5月は11.6%増とプラスに転じた。特に60歳以上の高齢者は19.0%増と急増している。
	学校就業関係者	日用品、食料品の物価は高騰している。価格を据え置いているものは、内容量が少なくなっている。光熱水費も値上げが続いている。消費は伸び悩み、景気はさらに悪化するものと思っている。

雇用	求人開拓員	日常生活において、コモディティをはじめとする諸物価の値上げが肌で感じられる。収入面の上昇が伴わない場合は不景気感が生じてくるものと考えられる。
----	-------	---

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	スーパーの移転により、複数の商業施設も入店との事で、年末にかけて賑わいも出てくるのではないかと考えている。また、消費喚起としてのプレミアム付き商品券事業の動きもあり、コロナ禍からの脱却に期待している。
	コンビニエンスストア	野菜や小麦などの高騰により、スーパーに寄る頻度が減ったという人が増えている。
	コンビニエンスストア	まん延防止等重点措置が解除され人の動きが活発になり購買意欲も増しているようだ。
	衣料品販売店	前回も書いたが、ガソリンや食料品といった生活実需品だけでなくすべてのものが値上がりしている。弊社で扱う洋服、雑貨なども仕入れ値が上がり、販売価格も上げざるを得ない状況。洋服は生活必需品には該当せず、結果、売上げも客数も伸びていない。
	家電販売店	値上げによる買控えはあるように感じる。コロナ禍の状況も改善しつつあるが、まだ高水準であり元の状況ではない。
	農産物直売所	こしばらくずっと変化なし。
	小売業（薬品店）	外食の部分で、以前は混んでいた店等も空いていると感じる。
	小売業（食品）	加工組合員に聞いたところ皆いい返事はなかった。
	小売業（書店）	物価高で趣味に金がかかれなくなっている気がする。
	洋食食堂	この数年、人の募集に悩まされてきたが、今年になって問合せが数多くあり、人の確保ができつつある。
	割烹料理店	スポーツやいろいろいるイベントが開催されるようになってきた。
	日本料理店	新規オープンが増えてきた印象。景気回復を期待しての事だと思われる。
	海鮮料理店	コロナ禍前は団体客の仕事をしていたが、まだまだ新型コロナウイルスの影響は変わらず、元に戻ることは難しい。
	観光型ホテル	最近、弊社を含め求人や就職の広告をよく目にするため人の移動が増えて来たのではないかと考える。
	運転代行	物価の値上がりが続き、大変な日々を送っている。新型コロナウイルスの影響もまだまだ続くが、早く景気が良くなることを願っている。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスを封じ込めない以上、景気の回復は見込めない。コロナ対策において国の対応が遅いように思う。
	レジャー施設	制限解除、感染者の減少で人の動きが活発になり、消費につながっている。だが、物価高が目立ち、経営者、消費者とも苦しさが増加する。イベントの開催なども多くなってきているので、昨年と違う風景になると予想できる。物価高、人員不足はどの業界も消費者も深刻な問題になる。
	クリーニング店	人の流れが多い気がする。
	住宅販売会社	資材高騰、資材に納期未定等の工程がかかってしまう。
	企業	農業関係者
製造業（その他）		生活関連の物価上昇のニュースをよく聞かすが、困ったという話よりは仕方がないという意識の人が多くいるように思う。逆にコロナ禍の収束を意識して海外との往来や国内旅行などの話題が増えているように思う。弊社の高度外国人材も数年ぶりに帰省する。また8月後半からは海外出張営業も再開する見通し。航空や鉄道、宿泊関連は今後良くなるのではないかと考える。
製造業（食料品）		GWなどには人出はある程度回復したように思える。ウィズコロナの中で感染防止策をしっかりとって経済活動を本格化させたい。
製造業（食料品）		鯖価格の高騰による缶詰製品売価アップは海外輸出向けにも適用していたが、最近の急激な為替円安にて、ドルベースでは割高感が希釈される形となることで販売数量の伸張が期待できる。
製造業（電気機械器具）		すべての原材料が高騰しているが、売価への反映には時間がかかっているようである。
製造業（ゴム製品）		様々なものが値上がりしている。
製造業（金属製品）		コロナショックに続きウクライナショックと二重の足かせが世界経済をダウンシフトさせる。
建設業		まさにインフレが起きている。
建設業		大手製造業の撤退との報道があり行政、下請け含め不安が払拭出来ない状況である。
運輸業（道路貨物運送業）		製造業関連の方の、早期退職が増えていると聞いている。
金融業		住宅建築業者（特に工務店等）は価格転嫁出来ていない様子。原材料の高騰により見積りが遅延している。
保険業		自動車の新車を注文しても納車に1か月以上かかることがある。
不動産業		とにかく資材が高くなって大変どころではない。
サービス業（会計事務所）	今後の食料品や燃料費等の値上がり心配だ。	
雇用	人材派遣業	人手不足感はあるものの、給与水準の好転はあまり見られない。人員不足をただ埋めようとしていただけで働き方や、就業条件が変わっていないように思う。
	民間職業紹介業	各企業が大手製造業の動きを非常に気にしている。
	公共職業安定所	雇用調整の動きが減少傾向にある一方で、新たに雇用調整を行おうとする事業所もあり、景気回復の動きにばらつきがある。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	スーパー	隣の市のスーパーマーケットが名前を変えてオープンした。オープニングセールの影響がかなりあった。
	農産物直売所	あらゆる物が値上りしている。安い売値の店に人が流れる傾向が続くと思われる。
	小売業	GW以降施設屋内でのお子様向けイベント等は、利用者数制限や検温などを実施し再開したが、客の反応は非常に好意的。やっと子供たちが普通に遊べるようになりありがたいとの声が多く、批判的な声は一切なかった。ただ土日祝日の夜の来館数についてはまだ落ち込んでおり、6時以降は外食せず早めに帰宅してしまう傾向が継続している。
	小売業（生花店）	夜間の飲食街の賑わいが戻ってきている一方、閉店した店もあり、二極化の傾向が見える。
	衣料品販売店	私はゴルフをやっているが周りのゴルフ場は予約でいっぱい。ゴルフ場で新型コロナウイルスの発生はない。旅行に行けないので、安くて身近なゴルフが良い。皆、終息して金を使いたくしてしょうがないと思う。コロナ禍の回復、ウクライナの終戦、米株安定を祈る。
	小売業（米穀）	コロナ禍でいろいろ業種で働き方が変わって来ている。先日、某お寺の住職に聞いた話、お通夜は90%なくなって、告別式も家族葬が多くなり、通常葬は減多にないと言う。結果、仕出し屋の廃業が増えているようだ。
	和食食堂	新築住宅、建売の販売、建築が活発だと感じられる。また、新施設が誕生したり、外出したい気持ちが見て取れる。
	都市型ホテル	最近では、景気に合わせてかSDGsなど進めている企業、学校が増えている。今後の取組としては良い傾向と思われる、ホテルも自らも盛上げていきたい。
	都市型ホテル	新型コロナウイルスへの緊迫感が薄れ人の行動も2年前とほとんど変わらない。このまま正常化してくれば良いと思う。景気は戻りつつあるが、ガソリンや電気代などの値上がりりが経営に影響し始めている。スーパーなどで少しずつ値上がりしてきた感じがする。
	タクシー運転手	買物は通販利用が増えたと思うが、やはり店での購入も必要と感じ、外出する人が増えている。飲食も外食はなるべく控えようとしていたものが、仲間との会食や飲み会などが増え、特に夜の街に活気が戻っている。
	タクシー会社	旅行会社の予約がたくさん増えているようで、飛行機やレンタカーの夏の予約が埋まっているようだ。
	サービスエリア	茨城県民割りの利用問合せが度々寄せられ、関心の高さと外出への機運の高まりが感じられる。
	ゴルフ場	ゴルフ場の作業機械の燃料、肥料、薬剤および光熱費等の値上がりりが顕著になってきているので、収益面でややもすれば負担過重になりかねないと警戒している。
	ゴルフ場	新型コロナウイルスに関しては、今までパーティは自粛されてきたが、少しずつ行われるようになってきた。少しずつ単価が上がっているが仕入れも上がっている。
	テーマパーク職員	コロナ禍もそうであったが、生活様式が変化し、趣味や余暇活動も変化しつつある。そのための消費や、体験や経験に金をかける傾向は、新型コロナウイルスが落ち着いている今もさらに増加しているように感じる。施設の集客だけでなく、アウトドアの講座やワークショップなどは、参加者が急増している。そういった業種や分野での景気はしばらく向上するのではないかと。
理・美容店	インフラで物価上昇にも関わらず好景気である。	
設計事務所	新型コロナウイルスによる資材不足等で、客（主に非正規社員）の収入が減り、住宅ローン支払いの相談が多い。	
企業	農業関係者	新型コロナウイルスの蔓延も小康状態となり、人的交流等がやや活発になってきたとは思われるが、景気の上向き気は感じられていない。
	製造業（窯業・土石製品）	値段の安い物を求める方が多い。
	製造業（印刷・同関連業）	数十年続いた地域の商店や小規模事業者の廃業・倒産が散見される。反面、新たに開業する店や若い経営者の活躍も見られるので、この地域（県南の一部）に限って言えばまだ活力はあるのかと思う。
	製造業（その他）	価格が上がり、儲け幅が少なく、下請けは思うように値上げをするのはなかなか難しい。
	製造業（窯業・土石製品）	こここのところ新型コロナウイルスも若干落ち着いてきているが、今後、観光や飲食による規制緩和が感染拡大につながらなければいいと思っている。
	運輸業（倉庫業）	工場関係は生産拠点を集約したり、生産する製品も集約する傾向になるように感じる。これは全てにおいて効率化という動きに転じている部分もあるのではと感じている。
	金融業	これまでコロナ禍の影響を強く受けていた娯楽業において、客足は前年比増加したが、飲食を伴う宴会需要は依然停滞している。望まれることは、新型コロナウイルスの感染者数の更なる減少、感染対策を講じたうえで多人数での飲酒飲食解禁ムードが必要と感じられる。
	不動産業	ウクライナ・ロシアの問題はこれから一般消費者にボディーブローのように効いてくるだろう。
雇用	民間職業紹介業	エリアによって求職者の要望レベルが上がっている（給与・環境面等）。
	求人広告	飲食店関連の景気が良くないように思う。
	学校就業関係者	物価の高騰からか、昨年と同じ内容で見積りを取っても、金額が昨年より高くなっている。
	求人開拓員	世界的な地政学的な出来事で、心理的な不安が助長され、先行きの明るさは見られない。国政選挙の年は経済はよくないとも言われるので、どう保守的に見ても先々も期待できない。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント	
家計	商店街代表者	ロシア戦争をはじめ、悪いニュースばかりが目につく。軒並みの値上げが効いている。	
	商店街代表者	旅行に出掛けられる。金を使うのが楽しみ。今まで外出できなかった70歳以上のシニアの友人たちや客は消費願望のある方が多い。	
	スーパー	ガソリンや食品の価格の上昇。	
	スーパー	特売セールの際の客数比率が増えている。	
	コンビニエンスストア	相変わらず、深夜の時間帯が悪い。	
	コンビニエンスストア	物価上昇、値上げが続く中でもタバコの販売については減少なく維持している傾向にある。	
	衣料品販売店	必要な物でも買控える傾向にある。	
	自動車販売店	全ての品に値上がりが見られる。	
	小売業（酒類）	コロナ禍の自粛が明け、金を持つて人は思いっきり高価な買物をしている感じがする。格差が一段と広がった世の中になった気がする。	
	製茶販売	皆が厳しくなっている。	
	レストラン	ガス・電気代の高騰や材料の値上げにより、経営が厳しくなっている。値上げしななければならないので客離れが心配だ。	
	日本料理店	原材料の値上げ幅が大きく利益につながらない。人件費も高騰していく一途なので利益にはつながらないように思える。	
	食堂	物価の高騰で景気がコロナ禍前に戻る事なく、自粛なれた生活がそのまま続いて行きそうな傾向に感じている。	
	和食レストラン	以前は個人名で予約をしてきていたが、最近は堂々と会社名を名乗って予約してくれるようになった。	
	都市型ホテル	仕入れ商品の値上げ、水道光熱費の高騰、中でも電気代の高騰が信じられないくらい上がっている。	
	旅行代理店	マスクのコロナ報道、旅行客の増加をメディアが報道してくれれば旅行業界の景気は良くなると思う。	
	旅行代理店	物価が高くなりつつあるので景気対策を国会・県会・市会にお願いしたい。また、旅行会社・バス会社への助成金の額の引き上げと支援を心から願っている。近県などへの観光案内（PR活動）とバス会社を使った日帰り旅行や泊旅行の割引案内などより多くの催しを实行されたい。	
	タクシー運転手	特徴的な変化はあまり見受けられないように思う。	
	企業	観光型ホテル	個人的には気分的にも明るくなってきている。しかし、仕事のほうには存続していけるかという不安の方が大きく必死である。業態からなのか悪いことは直撃で悪化し、良いことにはあと波のようにしばらくしないと実感がない。どう乗り越えていくべきか対応に明け暮れている。
		道の駅	全体的に外出した時の人の割合が以前より増えているように感じる。
ゴルフ場		子供の新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたことで、週末のショッピングモールや行楽地が盛り上がりつつある。各自自治体で様々なイベントが始まれば好転すると思う。	
レジャー施設		新型コロナウイルスの影響で減少していた消費は戻りつつあるものの、根本の景気回復につながる消費については、節約傾向や買控えなどが見られているように思われる。	
商店街代表者		微増だが、市内外より電話等で管内のイベントが開催されるかなどの問合せはある。また、微増だが外出したいという方々がいるのを感じるようになった。	
設計事務所		品不足による影響が建築だけでなく様々みられる。	
農業関係者		食品に限らず、すべてのものが値上げ傾向であり、買控えの傾向が強く景気が良いとは言えない。	
製造業（窯業・土石製品）		値上げになっていない部材を探す方が難しく、半年で2度値上げがあったモノも少なくないため、厳しい状況が続くようである。	
製造業（金属製品）		野菜が高い。	
製造業（化学工業）		輸出物流の逼迫・値上げと材料値上げの負担増。	
雇用	製造業（窯業・土石製品）	空耳に近いが、金は貯めずに使って回せという声が聞こえる。	
	製造業（金属製品）	素材費をはじめほとんどすべての物価が値上りし、再見積りの提出が日常の仕事となっている。	
	製造業（金属製品）	理由は分からないが、受注の多い所と少ない所の差が激しい。	
	建設業	同業者も客も、物価が上がって景気はますます悪くなる心配をしている。	
	金融業	農業、養豚、養牛業においての資材費・餌代の価格の上昇が激しく、非常に苦しいとの声が聞かれるようになってきている。	
	不動産業	木材等材料費の値上がりにより、建売メーカーはじめ建築コストがアップしている。	
	サービス業（コンサルタント業）	法事等で人が集まる機会が増えている。	
	人材派遣業	人材を募集しても集まらない。	
	求人広告	商業施設に行けば混雑しているなど感じ、飲食店に行けば順番待ちをするという機会がかなり増えたように感じる。人流が徐々に戻りつつあることで、一見景気回復にも思えるが、食品や材料などの値上がりなどの影響も感じる。特に主婦層や飲食店、印刷、建築業界など、少し困っている様子も見受けられる。	
	求人開拓員	採用難により派遣料金引き上げに応じる企業が増えている。	
求人開拓員	不景気（物価が上昇しても給与は変わらない）。		
求人開拓員	人手不足を訴える企業（建設、土木業、物流事業所）などから当所の求人登録のための訪問があった。		